

東京経済大学
地域連携センター
TKU Center for Regional Collaboration

2024 年度 年次報告書



Contents

はじめに.....	2
-----------	---

地域連携センター 2024年度年次報告書の発行にあたって

I. 地域連携センター	3
-------------------	---

1. 事務体制
2. 事業報告
 - (1) 事業方針
 - (2) 行事一覧
 - (3) 地域連携センター利用状況
 - (4) 情報発信
 - (5) 地域連携センター運営委員会
 - (6) 特命講師の活動実績
 - (7) 地域連携センターイベント

II. 地域連携	25
----------------	----

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2. 国分寺周辺地域活動費助成事業
3. 学生の社会貢献活動助成
4. 2024 年度 SDGs 学生委員会の活動報告

III. 産学連携	38
-----------------	----

1. 西武信用金庫との連携事業「地域連携スチューデントアワード 2024」

IV. 学生の社会貢献活動	53
---------------------	----



2024 年度年次報告書の発行にあたって

東京経済大学地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration：略称 CRC）は、本学の社会貢献および産官学民連携の窓口、ならびにそれらを促進していくための機関として設置されたものです。2015 年度に本学 1 号館 2 階に専用オフィスを開設し、専任職員および臨時職員による常駐体制を維持しています。当センターの運営を審議する機関として、地域連携センター運営委員会が設置されています。

本学の地域社会への貢献としては、市民の生涯学習支援の面で長い歴史がありますが、2004 年 10 月、大学の社会貢献の方針をより明確にし、地域課題の解決をめざす研究や学生の地域参加を一層促進するため、国分寺市と国分寺市商工会および本学の三者の相互協力・連携による「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」が発足しました。同協定に基づいて、まちづくりにかわる共同研究やシンポジウムなどの開催、ゼミやサークル単位での地域活性化等をめざした地域貢献活動、「地域インターンシップ」や「学生の地域貢献」というユニークな授業運営などに取り組んできています。また、地域金融機関とは包括連携協定を締結し、それに基づいた共同研究やアイデアコンテスト、あるいは金融機関からの助成金を活用した地域活性化事業の展開など、さまざまな連携が進んでいます。

当センターは、大学にお寄せいただく地域社会からのニーズやご相談を受けとめ、それらを学内に適切につないで連携を実現していく窓口として日常的に機能しています。同時に、学内諸団体（ゼミ、サークル等）が地域参加に足を踏み出す後押しとして、各種活動支援や活動費の助成制度による支援等を行っています。当センターから生まれたまちづくり学生団体は、学内最大規模のボランティアサークルとなり、地域においても大きな役割を担っています。

2024 年度は、コロナ下で中止となっていたような地域のお祭りやイベントがほぼ以前と同等に回復し、さまざまな地域参加の機会が生まれました。地元国分寺市は市制 60 周年、西国分寺駅も開設 50 周年という節目をもとにしたイベントも開催され、学生らが運営や企画にも大いに参画できた年だったといえます。本報告書をご覧いただければ、その様子がおわかりになると思います。

地域社会というキャンパスを越えた「学びの場」をいただき、学生らは机上の学習だけでは学べないような実践的なスキルや社会的感覚を身につけ、人間的に大きく成長しています。

社会と大学とのパートナーシップをさらに確固たるものとし、社会の期待に応えられる大学としての責任を果たせるよう、当センターとしても最大限努力を続けて参ります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2025 年 3 月

地域連携センター運営委員長
尾崎 寛直（経済学部教授）

I. 地域連携センター

1. 事務体制

地域連携センター（TKU Center for Regional Collaboration：略称CRC）は、2015年11月から1号館2階にオフィスを構えて窓口業務を開始しました。常駐職員2名体制で、外部機関等及び本学教職員・学生からの情報収集並びに双方への情報発信、シンポジウム、フォーラム、研究会などの準備・運営、本学教職員・学生の地域連携・社会貢献活動への支援を行っています。地域連携センターには、地域連携に係るミーティングや作業を行う会議・作業スペースが併設されています。

窓口時間：原則として、土・日・祝日を除く授業実施期間中の9：00～17：00

URL：<https://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

①管理業務

- ・地域連携センターの鍵・物品・資料等の管理
- ・予算管理
- ・文書管理
- ・備品等の調達
- ・オフィスの整理

②委員会等事務

- ・地域連携センター運営委員会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
- ・東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会運営委員会
- ・国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
- ・その他、東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会に係る委員会

③外部機関との連携窓口

- ・国分寺市
- ・国分寺市商工会
- ・多摩信用金庫
- ・西武信用金庫
- ・地域の企業、団体及び市民

④学内での窓口業務

- ・教職員への地域イベントや地域ボランティアの案内
- ・地域活動を行うゼミ・サークル等への地域情報の案内、全学生への地域情報提供
- ・他部署との連携・調整

⑤事務作業

- ・地域イベントの準備・運営（シンポジウム、フォーラムなど）
- ・掲示物、看板等の作成・管理
- ・地域情報収集、教職員・学生の地域連携・社会貢献活動の発信



案内看板(1号館1階エレベーター前)



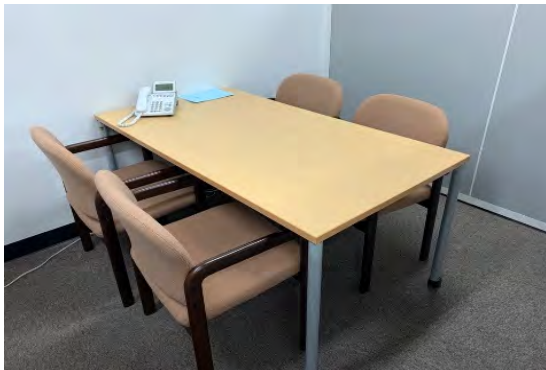
掲示板(地域連携センター前)



受付窓口・事務室



地域連携センター入口



【室内スペース小】応接コーナー 兼 特命講師相談ブース



【室内スペース大】会議・作業スペース



地域連携センター外観



小展示スペース(地域連携センター前)

地域連携センター使用に関する内規

（目的）

第1条 この内規は、東京経済大学地域連携センター規程第2条に基づき、地域連携及び産学連携を目的とした地域連携センター（以下「センター」という。）の使用に関し、必要な事項を定める。

（管理）

第2条 センターの管理は、地域連携センター運営委員会の下、総合企画部総合企画課が行う。

（使用範囲）

第3条 センターの設備等の使用範囲は、次の各号のとおりとする。

- (1) 作業・ミーティング用テーブル
- (2) 打合せブース
- (3) 書庫(資料等保管用)
- (4) 物品収納スペース
- (5) 備付けの文房具

（使用資格）

第4条 センターの使用資格は、次の各号の者とする。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 本学が許可した者

（使用日時）

第5条 センターの使用は、原則として土・日・祝日を除く授業実施期間中の午前9時から午後5時までとする。そのほかの日時での使用に関しては、必要に応じて個別に対応する。

（使用手続）

第6条 センターの設備等を使用する際は、センター窓口で申請の上、許可を得るものとする。

第3条第1号及び第2号について、複数のグループから同日・同時時間帯での使用申請があった場合は、申請順に使用を認める。10名以上で使用する場合には、あらかじめ日時・人数・目的等を申し出て予約することができる。

（使用心得）

第7条 センターの使用に当たって、使用者は次の各号を遵守しなければならない。

- (1) 室内での飲食・喫煙禁止
- (2) 室内での騒音及び携帯電話・スマートフォン通話禁止
- (3) 機器・備品・物品等の室外持ち出し禁止
- (4) 第1条に規定する目的以外の使用禁止
- (5) その他、公序良俗に反する行為の禁止
- (6) 整理整頓に心がけ、使用した機器・備品・物品等は元の状態・場所に戻すこと

- (7) 室内を清潔に保ち、使用後は清掃を行うこと
- (8) 教職員の指示に従うこと

使用者は、前項に規定する義務を怠り、故意又は重大な過失により設備・備品等に損害を生じさせた場合は、その損害を弁償しなければならない。

(使用禁止)

第8条 次の各号に該当する者には、センターの使用を禁止し使用中でも使用を中止させることがある。

- (1) センターの秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼす行為をした者
- (2) 教職員の指示に従わない者

(賠償義務)

第9条 使用者の責に帰すべき事由により設備等に損害を与えた場合は、本学が損害額を認定し使用者が負担するものとする。ただし、本学がやむを得ないと認めた場合はこの限りでない。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、地域連携センター運営委員会及び大学運営会議の議を経て学長が行う。

付 則

この規程は、2015年(平成27年)11月26日から施行する。

2. 事業方針

(1) 事業方針

2025 年度事業方針

1. 2024 年度までの事業の概要

本学は、2004 年 10 月に国分寺市、国分寺市商工会、本学の三者が中心となり「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」（以下、協議会）を結成して以来、教育・研究の各分野において国分寺地域の企業・行政・地域諸団体との連携事業を推進してきた。

2015 年度には、学内に地域連携センター（略称 CRC）が専任職員 1 名、臨時職員 1 名の常時窓口体制により確立され、学外諸機関と学内（ゼミ・サークル、学生・教職員）をつなぐ役割と機能が大幅に強化されている。また、地域連携支援担当の特命教員 1 名の採用（2017 年度～）により、地元の企業や商店会、行政等と連携してさまざまなプロジェクトを実現する特別ゼミ（「実社会における問題解決力を鍛える」）の開講など、正課授業との連動をさらに強化しながら、学生の地域参加の機会を多彩に広げることが可能となった。

2020 年以来世界的な新型コロナウイルス災禍によって、各種イベントやお祭りなどが軒並み中止に追い込まれて学生の地域参加の機会が失われていたが、2023 年度からはついに各種の行動制限が撤廃された。学内外での対面活動が復活し、2024 年度にはほぼ制限前の状態に戻り、地域での各種イベントも対面による全面再開にこぎ着けている。

CRC が支援している国分寺地域を基盤にした本学公式まちづくり学生団体「こくスマ！」によるシティ・セールス活動等は、対面活動の全面再開とともに多くの新入生を迎え入れ、学内最大規模の団体として活発な活動を展開している。コロナ下では活動が停滞していた学内最大の公認サークル「ボランティアサークル Clover」も、活発な地域貢献活動を再開し、5 年ぶりに商店街等と連携した国分寺駅北口周辺の清掃活動（「グリーンプライド」）も再開に至った。また、2022 年度発足の「SDGs 学生委員会」も企業・諸団体との連携を広げ、地域における存在感を高めている。

協議会においては、地域連携フォーラムや国分寺地域産業研究委員会主催の研究会を通じて、GX（グリーントランスフォーメーション）による脱炭素地域戦略と地域活性化の論議が進展していることは特筆される。大手企業や研究機関も参入し、「こくベジ」を地域資源として活かす戦略が議論されている。

以上のように、新型コロナウイルス災禍を経て、教育・研究両面で地域参加・地域貢献が大きく進展しているのが 2024 年度までの状況だといえる。

2. 2025 年度事業方針（案）

CRC の事業の柱としては、これまで取り組みを踏襲し、①地域活性化等に貢献する協働事業の拡大、②地域社会の課題解決等をめざした研究・交流の促進、③学内外への情報発信、④SDGs 実現に向けた取り組みの推進、を位置づける。

①については、地域活性化等の課題に学生・教職員が関わっていくことは、大学教育・研究の両面にとって大きな意義を有する。とくに学生にとっては、地域課題にリアルに接することで、主体的な学びの姿勢が促され、問題解決に向けた学習や提案等を通じて思考力や実践的スキルなどを磨くことができる。

②については、大学の知的資源を基礎に地域社会の抱える課題に貢献していくことは、社会的責任であり、大学に対する社会からの信頼を高めていく上でも不可欠である。大学は「地域シンクタンク」として知的資源・アイデアの提供や人材の育成などの役割を期待されていることを自覚し、地域のステークホルダーとの知的交流を進める必要がある。

③については、学生・教職員による社会連携の取り組みを学内外に効果的に発信していくことは、学外からのニーズを取り込み、学内からの参加者を増やす上できわめて重要である。グループウェア、TKUポータルなどの連絡手段に加えて、ソーシャルメディアを活用しながら、文字情報のみならず動画・映像発信によって情報をスピーディーかつリアルに学生・教職員に届けることが必要である。

④については、環境保護・社会的包摂・経済成長の統合をめざすSDGs実現のための活動は、社会連携を進めていく上での共通の目標でもあり、CRCの活動と大きく重なるところである。CRCが各主体のパートナーシップ関係を構築する役割を果たすなど、求められる役割は大きい。

以上の観点から、2025年度に取り組むべき課題を①～④の分野ごとに列挙する。

① 地域活性化等に貢献する協働事業の拡大

- ・ボランティアサークルの活動支援、組織運営支援の強化
- ・「グリーンプライド」事業などコロナ下で停滞した協働事業の再開と定着の支援
- ・国分寺周辺地域活動助成、学生地域参加活動助成の周知と利用促進
- ・鉄道・駅ビル事業者との協働プロジェクトの促進

② 地域の課題解決等をめざした研究・交流の促進

- ・地域金融機関等の企画するコンペティション、アイデア・コンテスト（「地域連携スチューデントアワード」等）への参加奨励
- ・ゼミの研究・実践における事業者とのマッチングおよび交流機会の創出支援
- ・国分寺地域におけるGXによる地域活性化等をめざす共同研究の取り組み促進
- ・「内なる国際化」に対応したダイバーシティ&インクルージョンの取り組みの地域における強化

③ 学内外への情報発信

- ・ソーシャルメディアも活用し、学生らに地域活動情報をスピーディーかつリアルに伝える広報活動の強化
- ・文字・写真のみならず、動画も活用した活動紹介・魅力の発信
- ・昼休み講座「CRC カフェ」の定期開催

④ SDGs 実現に向けた取り組みの推進

- ・SDGs 学生委員会による学内啓発の取り組み支援
- ・SDGs 学生委員会と国分寺地域における産業界等との連携活動支援
- ・SDGs を軸としたGX、DX（デジタルトランスフォーメーション）のための関係企業・団体とのパートナーシップ構築

以上

(2)行事一覧

①委員会

開催日時	内 容
2024. 5. 2	東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会 第 29 回協議会運営委員会
2024. 5.30	第 23 回 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会
2024. 5.22	2024 年度 第 1 回地域連携センター運営委員会
2024. 6.26	第 35 回 国分寺地域総合学習委員会
2024. 8. 6	2024 年度 第 1 回国分寺地域産業研究委員会 主催研究会
2024. 8.29	第 10 回東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム関係者による NTT e-City Labo 見学会
2024.10.16	2024 年度 第 2 回地域連携センター運営委員会
2024.11.20	2024 年度 地域インターンシップ成果報告書
2024.12.10	2024 年度 学生の地域貢献 活動報告会
2025. 3.18	第 36 回 国分寺地域総合学習委員会
2025. 3.26	地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会
2025. 3.26	2024 年度 第 3 回地域連携センター運営委員会
2025. 3.27	2024 年度 第 2 回国分寺地域産業研究委員会 主催研究会

②シンポジウム、イベント他

開催日時	内 容
2024. 5.30	第 10 回東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム 「国分寺市 GX スタートアップシンポジウム 産官学民の協創による脱炭素地域戦略 国分寺からの発信」
2024.10. 2	西武信用金庫「地域連携スチューデントアワード 2024」 学内選考会
2024.10.18	西武信用金庫「地域連携スチューデントアワード 2024」 中間発表会（オンライン）
2024.11.1～3	第 125 回 葵祭
2024.11.20	2024 年度第1回 CRC Café 「フードドライブについて考えよう」
2024.11.26	2024 年度第2回 CRC Café 「2024 年度 ボランティアサークル Clover 活動報告」
2024.12. 4	2024 年度 東京経済大学 SDGsシンポジウム 「世界の言葉とやさしい日本語 ～国分寺で学ぶ言語のダイバーシティとインクルージョン～」
2024.12.11	西武信用金庫「地域連携スチューデントアワード 2024」 本選
2025. 1.28	国分寺市×東京ガス×SHIBUYA109lab.コラボイベント「GX キッチン」

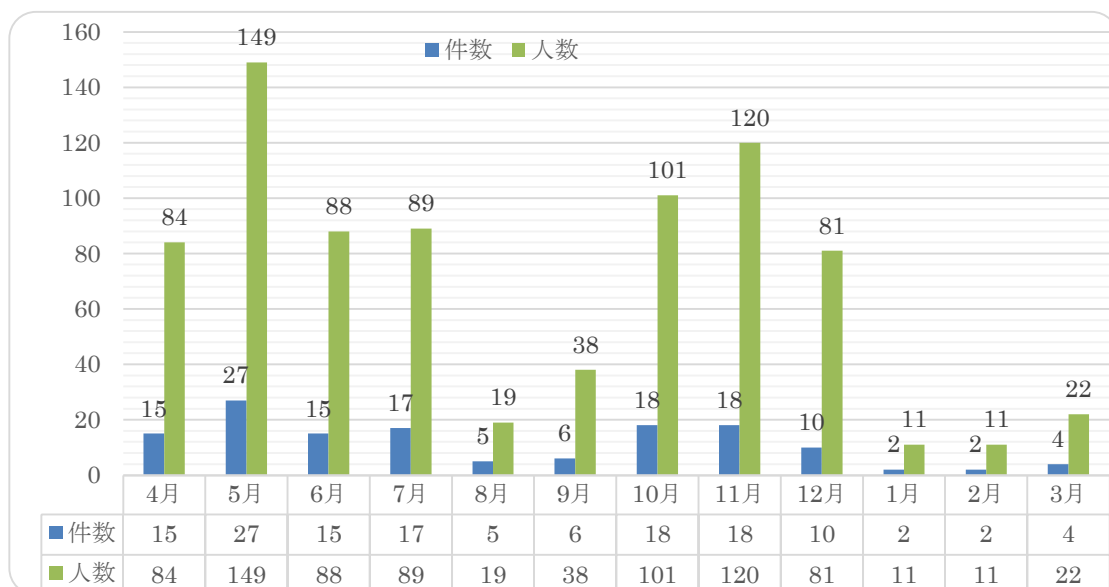


(3) 地域連携センター利用状況

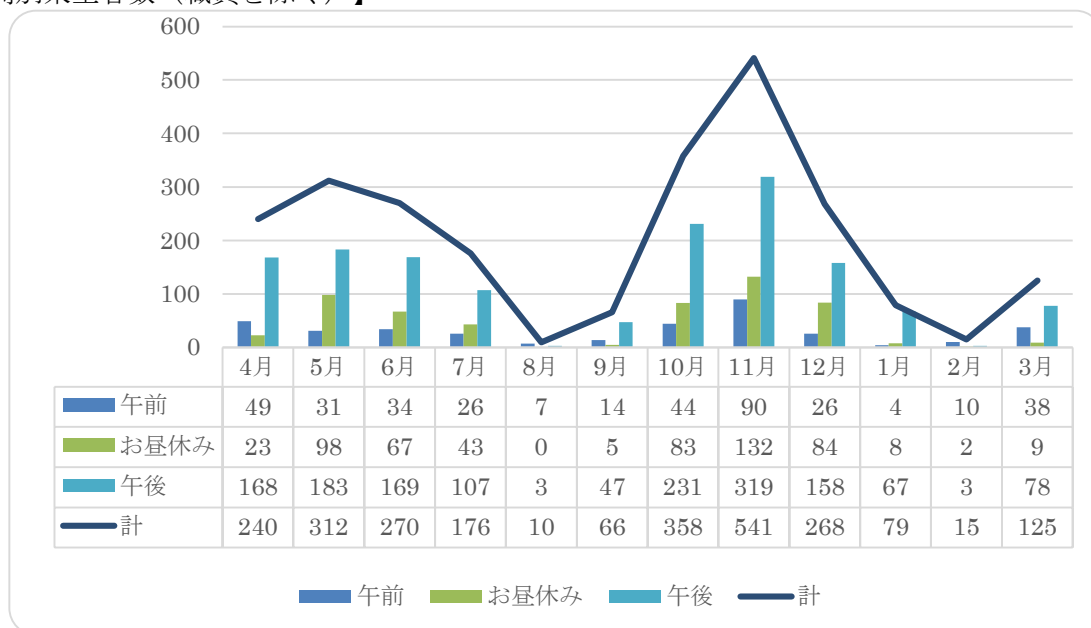
【会議・作業スペース月別利用数】

学 生：尾崎寛直ゼミ、鈴木恒雄ゼミ、鈴木恒雄特別ゼミ、こくスマ！、SDGs 学生委員会、Clover、落語研究会、TKU Unlimited、葵祭実行委員会 他

学外者：国分寺市（政策経営課、経済課、環境経営課、まちづくり推進課、協働コミュニティ課）
光公民館、並木図書館、国分寺市商工会、西武信用金庫、多摩信用金庫、東京ガス、三井住友銀行 他



【時間別来室者数（職員を除く）】



(4) 情報発信

①大学ホームページへのニュース掲載

年月日	タイトル
2024. 4. 9	明日 4/10 より正門からの桜並木にて「Welcome light up!」がスタート 鈴木特別ゼミ×こくスマ！が実施
2024. 4.12	「にしこくおみやげプロジェクト」は小木紀親ゼミ生と JR 中央線コミュニティデザイン、AnnBee がコラボ
2024. 4.24	第10回東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム「産官学民の協創による脱炭素地域戦略～国分寺からの発信～」申込受付開設
2024. 5. 9	5/11(土)・12(日)は、こくフェス！学生団体「こくスマ！」が西国分寺駅でワークショップを開催
2024 .5.27	【5/25 読売新聞】鈴木恒雄特命講師の特別ゼミ企画「こくめしプロジェクト」が紹介されました
2024. 5.31	尾崎寛直教授のゼミが複数の福祉施設と連携してスイーツ・パン等の販売会を実施
2024. 6. 6	【6/8～14 J:COM】「国分寺市 GX スタートアップシンポジウム」放送予定
2024. 6.21	浴衣日和の晴天の下「第3回 Let's浴衣ですたでい」プレイベントを開催
2024. 6.26	小木ゼミが考案した TFT メニューを生協食堂で期間限定販売
2024. 7. 8	梅雨の晴れ間の青空に浴衣が映える「第3回 Let's 浴衣ですたでい」本番イベントを開催
2024. 7.18	東経の森の景観を維持するため、SDGs 学生委員会の学生が第1弾活動を実施
2024. 7.24	「第1回 こくベジまつり」に SDGs 学生委員会が参加協力
2024.10.15	12/4 東京経済大学 SDGs シンポジウム「世界の言葉とやさしい日本語～国分寺で学ぶ言語のダイバーシティとインクルージョン～」
2024.11.15	小木紀親ゼミ「TFT 健康ランチ」を考案
2024.11.29	【11/27 読売新聞】鈴木恒雄特命講師の特別ゼミ企画「こくめしプロジェクト」が紹介されました
2024.12.19	経営学部北村真琴ゼミが優秀賞を受賞 --2024 年度地域連携スチューデントアワード--
2024.12.20	カレイラゼミ×英語アドバンスプログラムの地域貢献活動「英語で遊ぼう！2024」
2024.12.23	相互理解を目指して SDGsシンポジウム「世界の言葉とやさしい日本語～国分寺で学ぶ言語のダイバーシティとインクルージョン～」を開催
2025. 2. 8	こくスマ！と SDGs 学生委員会が国分寺市社会福祉協議会へ今年度の寄付を行いました

②TKU ポータル(学生向け)、サイボウズ掲示板(教職員向け)での情報発信

年月日	カテゴリー	タイトル
2024. 4. 2	国分寺地域情報	第2回国分寺市現庁舎用地複合公共施設ワークショップ開催のお知らせ
2024. 4. 5	その他	地域活動費助成 2024 年度「国分寺周辺地域活動」企画の募集について
2024. 4. 9	鈴木特別ゼミ×こくスマ！情報	Welcome light up!開催のお知らせ
2024. 4.10	鈴木特別ゼミ×こくスマ！情報	Welcome light up！本日から開催
2024. 4.23	SDGs学生委員会	SDGs学生委員会新規メンバー募集について
2024. 4.25	その他	2024 年度「地域連携スチューデントアワード」参加チーム募集のご案内(西武信用金庫連携事業)
2024. 4.26	国分寺地域情報	5/30(木)16 時 15 分～ 地域連携推進協議会フォーラム「産官学民の協創による脱炭素地域戦略 国分寺からの発信」開催のお知らせ
2024. 4.26	国分寺地域情報	こくフェス Music days2024 開催のお知らせ

2024. 5. 8	鈴木特別ゼミ情報	～「食」から国分寺を盛り上げる～「天ぷら海苔巻き 紅ぐま」販売のご案内
2024. 5.17	尾崎ゼミ情報	2024 年度 ともしび班 第 1 回クッキー販売会のお知らせ
2024. 5.22	鈴木特別ゼミ情報	「東経大名物パン開発プロジェクト」アンケート協力依頼
2024. 5.23	尾崎ゼミ情報	どーむ班・太陽班・泰山木班の 2024 年度第 1 回合同販売会のお知らせ
2024. 5.31	国分寺地域情報	男女共同参画週間 講座開催のご案内
2024. 6.10	尾崎ゼミ情報	2024 年度 ともしび班 第 2 回クッキー販売会のお知らせ
2024. 6.10	尾崎ゼミ情報	2024 年度 泰山木班 第 2 回手作りパン販売会のお知らせ
2024. 6.20	鈴木特別ゼミ情報	「芝生 de!パン de!おしゃビック!」開催のお知らせ
2024. 6.26	小木ゼミ情報	東経大生協との TFT 新作メニュー販売中
2024. 7. 1	尾崎ゼミ情報	2024 年度 どーむ班 第 2 回スイーツ販売会のお知らせ
2024. 7. 1	国分寺地域情報	こくベジイベント「こくベジハシゴ飯」、「トマトフェスタ 2024」開催のお知らせ
2024. 7. 4	国分寺地域情報	国分寺市制 60 周年記念イベント「60 祭」開催のお知らせ
2024. 7. 4	尾崎ゼミ情報	2024 年度 ともしび班 第 3 回クッキー販売会のお知らせ
2024. 7. 9	尾崎ゼミ情報	2024 年度 泰山木班 第 3 回販売会のお知らせ
2024. 7. 16	鈴木特別ゼミ情報	「東経大名物パン開発プロジェクト」前期アンケート結果報告
2024. 7. 16	その他	2024 年度第1回 国分寺地域産業研究委員会主催研究会開催のお知らせ
2024. 7. 25	その他	LOCAL TABLE「フードドライブ～食からみえるまちのつながり～」開催のご案内
2024. 8. 1	鈴木ゼミ情報	第 7 回 国分寺お店大賞～キラリ個性 ピカリ個店 2024～投票開始
2024. 8.29	国分寺地域情報	地域連携講座「第 13 回 市民のための契約法講座」開講のお知らせ
2024. 9. 2	国分寺地域情報	市民ワークショップ「考えよう！男女平等の未来」のご案内
2024. 9.10	鈴木特別ゼミ情報	第 10 回こくまるパンフェスティバル開催のご案内
2024. 9.19	尾崎ゼミ情報	2024年度 どーむ班 第 3 回スイーツ販売会のお知らせ
2024. 9.20	鈴木ゼミ情報	立川南口ワンダーランド開催のお知らせ
2024.10. 3	その他	こくスマ！「2024 年度葵祭フリーマーケット出品物ご提供のお願い」
2024.10. 7	国分寺地域情報	第 8 回ぶんじハロウィン開催のお知らせ
2024.10.11	尾崎ゼミ情報	2024 年度 泰山木班 第 4 回販売会のお知らせ
2024.10.16	鈴木特別ゼミ情報	「パン総選挙」投票へのご協力のお願い
2024.10.17	国分寺地域情報	「国分寺まつり」開催のお知らせ
2024.10.24	鈴木特別ゼミ×こくスマ！情報	秋を味わうライトアップ企画 第 1 弾
2024.11. 6	その他	東京経済大学 SDGs シンポジウム「世界の言葉とやさしい日本語」開催のお知らせ
2024.11. 7	鈴木特別ゼミ情報	キニョン東経大店との新作コラボパン 販売開始のお知らせ
2024.11.11	尾崎ゼミ情報	2024 年度 泰山木班 第 5 回販売会のお知らせ
2024.11.12	その他	地域連携センター お昼休み講座 2024 年度 第 1 回「CRC カフェ」開催のお知らせ
2024.11.13	その他	地域連携センター お昼休み講座 2024 年度 第 2 回「CRC カフェ」開催のお知らせ

2024.11.14	鈴木特別ゼミ情報	「ぐるぐるーレット〜パンのお悩みぐるっと解決〜」開催のお知らせ
2024.11.15	鈴木特別ゼミ情報	「2024 年度こくめし」開催のお知らせ
2024.11.20	国分寺地域情報	「ぶんぶんウォーク」開催のお知らせ
2024.11.22	鈴木特別ゼミ情報	国分寺マルイでのポップアップイベント「国分寺の OI しいをお届け」開催
2024.11.25	尾崎ゼミ情報	尾崎ゼミ×NPO 法人泰山木「シュトーレン予約販売」のお知らせ
2024.12. 5	鈴木特別ゼミ情報	「東経大名物パン開発プロジェクト」後期アンケートへのご協力をお願い
2024.12.10	尾崎ゼミ情報	2024 年度 ともしび班 第 4 回クッキー販売会のお知らせ
2024.12.12	尾崎ゼミ情報	2024 年度 泰山木班 第 6 回手作りパン等販売会のお知らせ
2024.12.17	国分寺地域情報	葵名人会開催のお知らせ
2025. 1. 7	国分寺地域情報	「新春ぶんじ寄席」開催のご案内
2025. 1.14	国分寺地域情報	楽しくお料理しながら国分寺を活性化?! エコ・クッキング体験イベント『DX キッチン』参加者募集
2025. 1.16	国分寺地域情報	こくぶんじ国際交流フェスタ開催のお知らせ
2025. 1.28	鈴木特別ゼミ情報	「東経大名物パン開発プロジェクト」後期アンケート結果のご報告について
2025. 2.14	国分寺地域情報	講座「声の力を信じよう〜思いを伝える話し方〜」のご案内
2025. 2.14	国分寺地域情報	国分寺市男女平等推進センター 情報誌「ライツこくぶんじ」編集委員募集
2025. 2.27	その他	【地域連携推進協議会】2024 年度第2回 国分寺地域産業研究委員会主催研究会 開催

③X(@tku_crc)での情報発信

年月日	内 容
2024. 4. 1	入学式が行われました
2024. 4. 2	新歓活動開始、こくスマ！も 新歓ブースを設置しています
2024. 4. 8	Welcome light up! 開催
2024. 4. 9	キニヨン東経大店も営業再開
2024. 4.10	Welcome light up! 今日から開催
2024. 4.24	西武信用金庫「地域みらいプロジェクト」助成金を今年度もいただきました
2024. 4.26	本日から AnnBee×東経大 小木紀親ゼミ×西国分寺駅による「にしこくおみやげプロジェクト」を西国分寺駅改札内催事スペースにて販売開始
2024. 5. 7	東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会は第 10 回フォーラムを 5/30cocobunjiWEST5 階リオンホールで開催
2024. 5. 9	明後日から「こくフェス」、こくスマ！も楽器作りのワークショップを西国分寺駅(改札外自由通路)で行います
2024. 5.13	5/11・12 開催「こくフェス」の こくスマ！ ワークショップにご参加いただきありがとうございました 売上金は今年度末に国分寺市社会福祉協議会に寄付します
2024. 5.13	地域連携センターでは国分寺を紹介する音声番組「国分寺レイディオ」第 2 シーズン「『カフェ』から国分寺は創られる」公開。大学公式Webサイト「国分寺学派」の下の方にあります
2024. 5.14	明日からマルイ国分寺店で鈴木特別ゼミ・こくめし班×幕明のコラボによる『天ぷら海苔巻き 紅ぐま』が期間限定販売 ゼミ生が作った宣伝映像がすごいです
2024. 5.16	昨日から「天ぷら海苔巻き 紅ぐま」の販売開始、パッケージデザインが素敵でおいしかったです
2024. 5.24	本日尾崎ゼミともしび班が第 1 回販売会を開催、スムージーはすぐ完売

2024. 6. 3	5/31 尾崎ゼミが 3 班(どーむ班・太陽班・泰山木班)合同で第1回販売会を開催
2024. 6.20	6/19 尾崎ゼミともしび班の販売会は前日の大雨から一転した晴天の下、スムージー、クッキー等すべて完売
2024. 6.21	6/21 尾崎ゼミ泰山木班が第 2 回手作りパン販売会を開催
2024. 6.26	6/26 から鈴木特別ゼミ・パンプロチームが「芝生 de!パン de!おしゃピク!」を開催 キニョン東経大店の人気パン 4 種の販売イベントです
2024. 7. 3	7/3 渡邊・藤井特別ゼミによる『第 3 回 Let's 浴衣ですたでい』開催
2024. 7. 4	7/4 尾崎ゼミ・どーむ班による第 2 回スイーツ販売会が開催、夏にオススメのレモンケーキは早々に完売
2024. 7.19	国分寺市制 60 周年記念「60 祭」、こくスマ！が 60 周年記念ロゴやホッチの缶バッジ作り・販売で参加
2024. 8. 1	第 7 回国分寺お店大賞投票が開始。お店大賞は国分寺市商工会主催、鈴木ゼミが協働して活動しています
2024. 9. 4	並木図書館にて開催される「国分寺はなぜスローライフなまちといわれるのか」の講演会で CRC スタッフが講演
2024. 9.10	9/11 から国分寺マルイにて「第 10 回こくまるパンフェスティバル」開催。鈴木特別ゼミ・パンプロチームがボンパドウルと共同開発したパン 3 種を販売
2024. 9.11	こくまるパンフェス始まる、オススメはカレー生地とトッピングがよく合う満足感あるネギ照り焼きのカレーピザ
2024. 9.24	葵祭の告知懸垂幕が葵陵会館に掲出、125 回葵祭は 11/1～3 に開催
2024. 9.26	9/26 尾崎ゼミ・どーむ班と太陽班の販売会開催 焼き菓子と革製品などを販売
2024.10. 8	12/21 落語研究会の「葵名人会」が数年ぶりに復活 卒業生の八代目春風亭柳橋師匠も出演
2024.10.10	10/6CRC スタッフによる講演「国分寺はなぜスローライフなまちといわれるのか」光公民館で開催
2024.10.11	10/14 第 7 回国分寺お店大賞表彰式を開催 鈴木ゼミお店大賞班が企画・運営・広報を実施
2024.10.15	10/14 第 7 回国分寺お店大賞表彰式開催 2 回目のグランプリ受賞の「木もれび」はお店大賞殿堂入りに
2024.10.24	新次郎池ライトアップが 10/23 よりはじまる
2024.10.30	11/18～12/8 に開催の今年の「こくめし」、今年のキャラクターは「米大将」
2024.11. 1	第 125 回葵祭前夜祭がはじまる、葵祭は 11/2～3 に開催
2024.11. 3	こくスマ！が葵祭でフリマとゲームを開催、売上金は国分寺市社会福祉協議会に寄付します
2024.11. 3	こくスマ！は第 41 回国分寺まつりにも出店
2024.11.11	国際シンポジウム「グリーントランスフォーメーションにかけける産業の未来」を 11/30 に開催
2024.11.13	12/4 開催 SDGs シンポジウム「世界の言葉とやさしい日本語～国分寺で学ぶ言語のダイバーシティとインクルージョン～」
2024.11.13	鈴木特別ゼミとこくスマによる秋のライトアップ第 2 弾「誰かと見たい秋がココにある」11/13～11/26 まで開催
2024.11.15	尾崎ゼミ・泰山木班によるパンとスイーツ販売が 11/15 に開催 泰山木は東経大のすぐ近くにある NPO 法人
2024.11.15	鈴木特別ゼミ×国分寺市商工会による学生発フードイベント「こくめし」が 11/18 から開催 今年度の共通テーマは「おにぎり」、市内 17 店の個性的な飲食店が参加
2024.11.19	11/22 よりぶんぶんウォーク開催 こくスマ！は缶バッジとしおり作りのワークショップ、SDGs 学生委員会はサステなぶんじへ参加
2024.11.21	11/18(月)～こくめし始まる 参加 17 店舗でこくめしメニューの注文で各店先着 20 名様にオリジナルボールペンをプレゼント
2024.11.22	11/23、24 国分寺マルイ×鈴木特別ゼミのコラボイベント「国分寺の OI しいをお届け」国分寺マルイにて開催 こくめし参加店のオリジナルおにぎり弁当を限定販売
2024.11.22	11/23,24 セレオ国分寺と SDGs 学生委員会による「サステなぶんじ」がセレオ国分寺 9 階で開催
2024.11.22	11/20「地域インターンシップ」成果報告会を進一層館で開催 市内 9 機関にお世話になった 21 名の学生たちが成果を発表

2024.11.25	11/25～生協食堂で小木ゼミによる TFT (TABLE FOR TWO) メニュー「シャキトロ！SKT丼」が提供開始 1 食あたり 20 円分をアフリカの子どもたちの給食に寄付する取り組みです
2024.11.25	11/23,24 国分寺マルイと鈴木特別ゼミのコラボ企画「国分寺の OI(おい)しいをお届け」 2日間とも完売
2024.11.25	鈴木特別ゼミ・パンプロチーム×キニョン東経大店の共同開発パン「明太チーズもち」(200 円) が 11/29 まで販売中
2024.11.25	こくスマ！×鈴木特別ゼミ「イチョウ並木ライトアップ」は明日 11/26 まで、イチョウ並木はようやく見ごろ
2024.11.25	11/23,24 セレオ国分寺×SDGs 学生委員会が「環境問題について自分ごと化して行動」するイベント「サステなぶんじ」を開催
2024.11.25	11/24「こくスマ！」がオリジナル缶バッジ&しおり作りワークショップをぶんぶんワーク 2024 の一環として cocobunji プラザにて開催
2024.11.25	11/20 地域連携センター主催の昼休み講座「CRC カフェ」本年度第1回を開催 TKU Unlimited フードロス班が「フードドライブ」について発表
2024.11.26	鈴木特別ゼミとこくスマ！の企画「イチョウ並木のライトアップ」は 11/26 まで
2024.11.27	11/25～本学生協の鎌倉廻米店販売スペースでこくめしメニュー「タコライスおにぎり」が 12/6 まで期間限定販売
2024.11.27	鈴木特別ゼミ「こくめし」の取り組みが 11/27 付読売新聞オンラインにて紹介 「こくめし」は市内 17 の飲食店で「おにぎり」を共通商材テーマに 12/8 まで開催
2024.11.27	11/27 から渡邊・藤井ゼミによる冬のライトアップ開始
2024.11.28	11/29 ローカルテーブルにて鈴木特別ゼミ・こくめしプロジェクトの学生たちが活動発表 参加申込みはココブンジプラザまで
2024.11.28	12/4 開催「世界の言葉とやさしい日本語」は、10/25 に開催したローカルテーブル「ご近所さんは外国人」と同じ テーマのイベントです
2024.12. 2	11/29 ローカルテーブルで鈴木特別ゼミ・こくめしプロジェクトの学生達が活動発表を行い、参加者とのテーブル トークに参加
2024.12. 5	12/4 の「世界の言葉とやさしい日本語」にはたくさんの人たちが来ました 終わってから国分寺の外国出身の人の店の飲み物を飲みながらみんなで一緒に話をしました
2024.12.11	12/10 2024 年度「学生の地域貢献」活動報告会を進一層館1階ホールで開催 地域ボランティア活動を通じて「地域を学ぶ」「地域から学ぶ」ことを目的とした授業の報告会です
2024.12.12	12/11 開催「地域連携スチューデントアワード」(西武信用金庫主催、出場 6 大学 14 チーム)で、本学「チームこぶし」(経営学部北村 真琴ゼミ)が優秀賞を受賞 防犯アクセサリ「Yolni」を使った電車内等の痴漢未然防止機能の提案が評価
2024.12.12	落語研究会の「葵名人会」が 6 年ぶりに復活！OB の八代目春風亭柳橋師匠も出演！12/21(土)18:30 開演、 予約なし、入場無料
2025. 1.10	落語研究会が恒例の新春ぶんじ寄席を 1/12(日)12 時～セレオ国分寺 9 階特設ステージで開催
2025. 2. 6	2/4 まちづくり学生団体「こくスマ！」が地域イベントのワークショップ等の今年度収益 94,500 円、SDGs 学生委員 会が葵祭模擬店でのこくベジスイーツ収益 20,000 円を、国分寺市社会福祉協議会へ寄付
2025. 3.19	「桜 ライトアップ」～史跡武蔵国分寺跡～3/21(金)～4/6(日)PM6:00～8:30 までライトアップされます
2025. 3.21	本日 (3/21)、卒業式が行われました 卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます

④メディア掲載

年月日	内 容
2024. 5.25	「こくめしプロジェクト」メンバーが国分寺マルイ、株式会社幕開とコラボし考案した初めてのオリジナル天ぷら海 苔巻き「紅ぐま」について、読売新聞多摩版に掲載
2024. 6. 8	東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会が開催の国分寺市 GX スタートアップシンポジウム「～産官学民 の協創による脱炭素地域戦略 国分寺からの発信～」の様子がJCOM:COM チャンネル「ジモトトピックス」で 放送 6 月 8 日 (土) 初回、同じ内容が 6 月 14 日 (金) まで 1 日 3 回放送
2024.11.27	食で地域の活性化を目指すイベント「こくめし」、2024 年度は「おにぎり」を共通商材とし開催中と、読売新聞 多摩版に掲載

⑤展示パネルでの情報発信

地域連携センター内外の掲示板に、学生の活動の様子を中心にパネルにまとめて展示しました。



⑥モニターを使用した動画による活動紹介

地域連携センター入口横に設置し、動画を使って活動紹介をおこないました。

⑦「国分寺を知るためのブックガイド」

地域連携センター前で国分寺に関する音楽を紹介する展示をおこないました。

展示日	タイトル	展示したもの
2025. 1. 6～	国分寺と音楽	中山ラビ LP『ひらひら』、RC サクセッション LP『シングル・マン』、竹中直人 CD『イレーザー・ヘッド』、荒川ケンタウロス CD『花沢橋』『君に降る星』、EP『国分寺音頭』『国分寺小唄』、EP『国分寺市の歌』、スガシカオ CD『サングラス』、ストリート・スライダーズ LP『天使たち』他 国分寺に関する曲やアーティストのレコード、CD、書籍などを展示



⑥動画による活動紹介



⑦国分寺に関する音楽を紹介

(5) 地域連携センター運営委員会

開催日時・場所	議 題
第 1 回 2024. 5. 22 東京経済大学 321 研究集会室	【審議事項】 1. 2024 年度「国分寺周辺地域活動費」助成企画の選考について 2. 2024 年度「学生の社会貢献活動に対する助成金」企画の選考について 3. 2024 年度自己点検・評価について 4. 特命講師の再任に関する報告書について 5. その他 【報告事項】 1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会について 2. 地域連携推進協議会フォーラムについて 3. 西武信用金庫「地域みらいプロジェクト」について 4. 2024 年度の新規イベント等について 5. 各委員報告 6. その他
第 2 回 2024. 10. 16 東京経済大学 321 研究集会室	【審議事項】 1. 2025 年度地域連携センター予算要求について 2. 地域みらいプロジェクト(西武信用金庫寄付金)の使途について 3. 東京経済大学まちづくり学生団体こくスマ! 規約(案)について 4. 地域連携・社会貢献活動等の取扱いに関する内規(案)について 5. その他 【報告事項】 1. 私立大学等改革総合支援事業「タイプ3(地域社会への貢献)」について 2. 西武信用金庫連携事業「地域連携スチューデントアワード」について 3. 2024 年前半の地域活動について 4. 2024 年度「ぶんぶんウォーク」の開催について 5. SDGs シンポジウム「世界の言葉とやさしい日本語」の開催について 6. SDGs ロードマップの作成について 7. 各委員報告 8. その他 ①CRC カフェの開催について ②その他
第 3 回 2025. 3. 26 東京経済大学 6 号館 7 階 中会議室 4	【審議事項】 1. 2025 年度事業方針について 2. 2025 年度「国分寺周辺地域活動費」助成企画の募集について 3. 2025 年度「学生の社会貢献活動助成金」企画の募集について 4. その他 【報告事項】 1. 2024 年度国分寺周辺地域活動実施報告 2. 2024 年度学生の社会貢献活動に対する助成実施報告 3. 2024 年度「地域連携スチューデントアワード」結果報告 4. 地域連携支援特命講師の 2024 年度特命業務報告 5. 2024 年度自己点検・評価について 6. 2024 年度年次報告書について 7. 2025 年度予算について 8. 地域みらいプロジェクト(西武信用金庫寄付金)について 9. 2025 年度ぶんじコンシェルジュ事業に関する協定について 10. 国分寺地域産業研究委員会主催研究会のお知らせ 11. こくスマ! 2024 年度活動報告について 12. 2025 年度地域連携センター主催フォーラムの開催について 13. その他

令和 6 年度 特命業務の活動実績報告

地域連携センター業務の一環として地域へ本学の学生を送り出し、実学の間を提供すると共に、地域における本学の存在価値の向上を図るためを目的とする。学生が街づくりサポーターとして地域で能動的に活動できるよう構築したプラットフォーム組織「グリーンプライド」を軸とし、まちづくり学生団体「こくスマ!」を中心に下記のとおり公益性に資する活動を推進した。

記

1. 「グリーンプライド」における地域活動

(1) 国分寺市案内所における「ぶんじコンシェルジュ」活動

平日の 17 時～19 時、国分寺市案内所にこくスマ!の学生が常駐し、駅周辺の店舗や施設を案内した。

ただし、大学の夏季休暇期間中、通学定期券が切れる学生も多いため、8 月の活動は休止した。当該期間以外は、鈴木特別ゼミ生を中心にシフトを組むことで、課題であった平時の稼働率を平準化させ、年間を通して 326 人にご利用いただいた。



(2) 「ぶんじコンシェルジュ」基礎研修の開催

当活動に先立ち、当コンシェルジュの認定者をこくスマ!から輩出するため、5 月 22 日(水)に対面でぶんじコンシェルジュ研修と認定式を開催した。約 80 名の新入部員が参加し、こくぶんじ観光まちづくり協会の前会長である星野氏による講義を拝聴した。修了した約 80 名が「ぶんじコンシェルジュ」として認定された。



ぶんじコンシェルジュ研修
の風景



(3) 「ぶんじマルシェ」活動協力、清掃活動

国分寺駅北口にある商店会連合会が年間を通して主催するイベント「総称：ぶんじマルシェ」では、4 月 7 日(日)に「ぶんじ花まつり」、10 月 27 日(日)に「ぶんじハロウィン」が開催された。加えて、過年度において実施されていた商店会との協働による清掃活動を 11 月 8 日(金)に再開させた。これら活動に対応するため、ボランティアサークル clover に商店会との窓口となるぶんじマルシェ担当幹部を新設し、双方向コミュニケーションの円滑化を図った。この結果、「ぶんじ花まつり」では約 10 名、「ぶんじハロウィン」や清掃活動においては約 30 名の clover 部員が参加した。



清掃活動



ぶんじ花まつり



ぶんじハロウィン

2. こくスマ！による地域活動

(1) 「こくフェス」の開催と新入部員研修

国分寺市内の音楽イベント「こくフェス」の開催に、こくスマ！も参画した。国分寺市を始め、関係団体とこくスマ！による実行委員会を組織化し、企画の検討や運営を担った。開催日 5 月 11 日(土)、12 日(日)は、市内に点在する公共施設を音楽会場とする他、こくスマ！では、回誘客を対象とした「カスタネットとタンバリン作りワークショップ」を西国分寺駅改札口にて催した。ブースには数多くの家族連れが訪れ、2 日間で延べ 64 名の子供達が参加し、6,400 円の売上を計上した。

当イベントに合わせ、新入部員による市内名所の視察研修を組み込んだ。約 20 名の新入部員が西国分寺駅の周辺に点在する史跡公園、お鷹の道、姿見の池など視察し、まちづくりの歴史的な背景を学んだ。



視察研修



ブースの様子



参加者

(2) 「60 祭」の開催

7 月 20 日(土)に、国分寺駅直結の cocobunji プラザにて国分寺市の市制施行 60 周年を記念した「60 祭」を開催した。市から依頼を受け、国分寺市のイメージキャラクターである「ぶんじほたるホッチ」の缶バッジ作りワークショップをブース出店した。学生達がキャラクターデザインの使用許諾申請するなど、子供に喜ばれる缶バッジデザインを作成。当日は、限定のオリジナルデザインということもあり、行列ができるほど多数の親子連れが訪れたが、持ち込んだ缶バッジマシーンのトラブルに見舞われ、76 名の参加、25,800 円の売上に留まった。



ワークショップの様子



参加者



(3) 葵祭における地域枠へ参加

第125回葵祭（11月2日(土)、3日(日祝)）では、葵陵会館1、2階フロアを地域枠として葵祭実行委員会から間借りし、活発な地域活動をしている団体の出展に限定したエリアを創出。こくスマ！では、フリーマーケットに加え、ゲームを催した。本学教職員に向けて不要になった未使用品の提供を呼びかけ、多数の掘り出し物を陳列することができた。1回100円の射的やワニワニパニックなどのゲームには子供や学生の行列ができるほど人気を博した。葵祭におけるブースでは、売上51,400円を計上した。しかし、フリーマーケットの出品数は減少傾向にあり、新たな未使用品の回収手段を検討していく必要がある。



フリーマーケット

ゲームブース



(4) 国分寺まつりへの参加

今年度の国分寺まつりは11月3日(日祝)、4日(月休)の二日間開催された。初日は葵祭と被ってしまったが、こくスマ！はこくぶんじ観光まちづくり協会のブースにて、「目指せ！国分寺マスター」と題し、国分寺市に係るクイズ（国分寺市監修）コーナーを催した。学生達は難易度別に2ランクのクイズを作成した。参加料1回100円で、全問題クリアした人にはオリジナルの国分寺マスター缶バッジを進呈した。延べ86名が参加し、8,600円の売上を計上した。



ブースの様子

(5)「ぶんぶんうおーく」へ参加

こくぶんじ観光まちづくり協会とこくスマ！の共同企画として、「ぶんぶんうおーく」に11月24日（日）、cocobunji セミナールームにてブース出店した。国分寺ファンバッジやオリジナルしおりづくりワークショップを催しつつ、国分寺の魅力発信及び「ぶんじコンシェルジュ」の認知度向上を図った。ファミリー層を中心とした多数の参加者を集め、2,300 円の売上を計上した。



ブースの様子



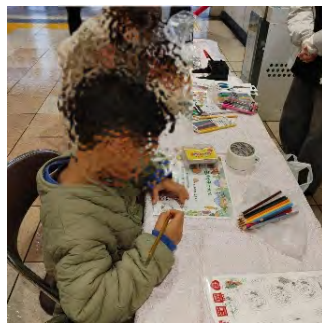
参加した子供たち

(6) にしこくスマイルフェスティバルの開催

西国分寺駅からコラボイベントの依頼を受け、西国分寺にスポットを当てた新たなイベントを創出した。開催にあたり、JRや西武信用金庫の職員とコンセプトワークを重ね、「ほっとスポットにしこくプロジェクト」を立ち上げた。イベントの企画やポスターデザインなどを学生主体で進めた。第1弾イベントとして、3月16日（日）に「にしこくスマイルフェスティバル」を開催。にしこく探索クイズ（5問出題）とオリジナル缶バッジワークショップを催した。雨天にもかかわらず36組の親子が参加して西国分寺の魅力を再発見してもらった。なお、当イベントで得た収益3,600円は、次年度の寄付金へ繰り越す。



ブースの様子



にしこく探索クイズ



参加者



オリジナル缶バッジ

3. 夏合宿

本学の前身である大倉商業学校の祖、大倉喜八郎の生誕地である新発田市にて8月27日(火)、28日(水)(一泊二日)の夏合宿を実施した。国分寺市で地域連携の一端を担うこくスマ!と新発田市がまちづくり活動について交流を深める場を設けた。交流会には16名の部員が参加し、地域イベントである新発田まつりにて露店の協力や周辺地域の清掃活動を行い、当実行委員会メンバーと交流を図った。



イベント会場及び周辺の清掃活動



参加者の集合写真

4. 国分寺市社会福祉協議会への寄付活動

上記の地域活動を通じて得られた収益金の合計94,500円は、2025年2月4日にこくスマ!の代表及び直前代表が国分寺市社会福祉協議会へ全額寄付した。なお、収益金の明細は下記を参照。



収益金を国分寺市社会福祉協議会へ寄付

<2024 年度 収益金の内訳>

①こくフェス (5/11, 12)	6,400 円
②国分寺市政施行 60 周年記念イベント 60 祭 (7/20)	25,800 円
③葵祭でのフリーマーケットなど (11/2, 3)	51,400 円
④国分寺まつり (11/3, 4)	8,600 円
⑤ぶんぶんウォーク (11/24)	2,300 円
合計	94,500 円

※⑥にしこくスマイルフェスティバル (3/16) の収益 3,600 円は次年度繰越し

5. その他 メディア出演

市政施行 60 周年記念市勢要覧 こくぶんじ (令和 6 年 11 月発刊) に部員 3 名が市内の名所を案内する画像が多数採用された。さらに、「ぶんじコンシェルジュ」の活動が本編の国分寺事典 (25 頁) にも用語として掲載された。



←表紙

→
22, 23 頁



↓ 24, 25 頁



(7)連携センターイベント

【お昼休み講座 CRC カフェ】

開催日時・場所	内 容
第1回 2024.11.20(水) 東京経済大学 1号館2階 学生ラウンジ	参加人数： 10 人 講 師： TKU Unlimited 食品ロス班 宮寺 澄(現代法3年) 【タイトル】 フードドライブについて考えよう！ 【内 容】 7月にcocobunji WEST 5階カフェローカルにて一般市民向けに開催されたLOCAL TABLE「フードドライブ～食からみえるまちのつながり～」で講師を務めた学生が、学生・教職員向けに「フードドライブとは何か、なぜフードドライブの活動をするようになったのか、実際にどのような活動を行っているのか」等を再構成して紹介。
第2回 2024.11.26(火) 東京経済大学 1号館2階 学生ラウンジ	参加人数： 4 人 講 師： ボランティアサークル Clover 代表 小林 駿太(現代法3年) 【タイトル】 2024年度ボランティアサークル Clover 活動報告 【内 容】 国分寺市内をはじめ各所で取り組んできた多彩なボランティア活動や相手先との関わりについて等、学生・教職員向けに活動の様子の写真を交えて分かりやすく紹介。

Ⅱ. 地域連携

1. 東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会

(1) 協議会

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 23 回	2024(令和 6)年 5 月 30 日 Cocobunji WEST 5 階 セミナールーム	○協議会委員と専門委員会委員の交代について ○2023(令和 5)年度専門委員会の事業報告について ○2024(令和 6)年度専門委員会の事業計画について ○東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会フォーラム(第 10 回)の開催について
第 10 回 フォーラム	2024(令和 6)年 5 月 30 日 Cocobunji WEST 5 階 リオンホール A・B	国分寺市 GX スタートアップシンポジウム 産官学民の協創による脱炭素地域戦略～国分寺からの発信～

(2) 協議会運営委員会

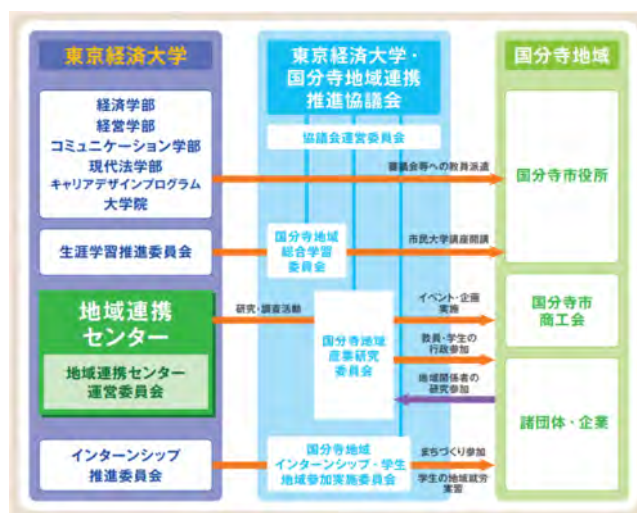
会議	開催日時・場所	協議内容等
第 29 回	2024(令和 6)年 5 月 2 日 東京経済大学 進一層館 地下 1 階 会議室	○委員交代と委員会の構成について ○2023(令和 5)年度専門委員会の事業報告について ○2024(令和 6)年度専門委員会の事業計画について ○東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会(第 23 回)の開催について ○その他

(3) 国分寺地域産業研究委員会

会議	開催日時・場所	協議内容等
研究会	2024(令和 6)年 8 月 6 日 東京経済大学 進一層館 地下 1 階 会議室	2024 年度第 1 回 国分寺地域産業研究委員会主催研究会 「こくベジと DX 都市農業のブランディングの可能性」
研究会	2024(令和 6)年 8 月 29 日 NTT e-City Labo 見学会	第 10 回フォーラム「国分寺市 GX スタートアップシンポジウム」 関係者によるラボ見学を中心とした研究会
研究会	2025(令和 7)年 3 月 26 日 東京経済大学 進一層館 地下 1 階 会議室	2024 年度第 2 回 国分寺地域産業研究委員会主催研究会 「インパクト投資と地方創生—その活用のあり方とマネジメント」

(4) 国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会

会議	開催日時・場所	協議内容等
第 34 回	2025(令和 7)年 3 月 26 日 東京経済大学 6 号館 7 階 中会議室 4	○委員の交代について ○2024(令和 6)年度事業報告 ○2025(令和 7)年度事業計画 ○東京経済大学の教育課程編成について 他



2. 国分寺周辺地域活動費助成事業

(1) 『本多公民館での新緑まつり参加およびゼミ展示会の開催』

経営学部教授 青木 亮

期間：2024年5月17日（金）から 2024年12月1日（日）まで

本年度は、国分寺市本多公民館にて、5月17日から19日の3日間行われた第40回本多公民館新緑まつりへの参加と、11月27日（水）から12月1日（日）の5日間にわたりゼミ展示会を実施した。

5月開催の新緑まつりへの参加は、前年度のゼミ展示会（国分寺超小型モビリティシェアリングサービス）の内容を再構成したパネル展示を2階エレベーター前にて行った。パネル展示と共に、前年度の1月後半から他の参加団体と協力して準備に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営に協力した。参加団体の構成員に高齢者が多いこともあり、パネルや椅子、机の移動を伴う会場設営作業では、体力のある学生の参加は多くの方から喜ばれた。

11月末に行ったゼミ展示会は、2006年から継続しており、本年度は「ほこみちでほっこり、満ち足りる国分寺市へ」をテーマに国分寺市本多公民館集会展示室にて開催した。展示会では、歩行者利便増進道路制度の通称「ほこみち」を用いた街づくりを、国分寺駅北口に計画中の都市計画道路と絡めて提案した。本年度は土、日を含む5日間の開催であったこともあり、来場者数も206名と久しぶりに200名を以上になった。来場いただいた市民からの評判も良く、例年以上に多くの来場者がアンケートを記入していただけるなど、充実した展示内容であったと考える。また展示会終了後、ゼミの時間を用いて、ゼミ生にアンケート結果をフィードバックするなど、次年度に向けてフォローアップを実施した。

現在、2025年度（5月開催予定）の第41回本多公民館新緑まつりに向け、準備を進めている。



新緑まつりでの展示「国分寺超小型モビリティシェアリングサービス」



ゼミ展示会「ほこみちでほっこり、満ち足りる国分寺市へ」

(2) Web サイト「国分寺物語」及びこくベジを活用した国分寺周辺地域の活性化

経営学部教授 小木 紀親

期間：2024 年 4 月 1 日（月）から 2025 年 2 月 28 日（金）まで

2024 年度の成果については、次のとおりである。

- ① Web サイト「国分寺物語」の企画・運営・執筆・情報配信を行い、もって国分寺市の活性化に寄与し、地域貢献を果たした。
- ② 常時、国分寺市役所と連携し、国分寺市の地域活性化に寄与した。また、ぶんぶんウォークに延べ 20 名ほどがボランティアスタッフとして参加して、運営に携わった。
- ③ 国分寺市及び国分寺市観光協会主催「こくぶんじ写真コンクール」の審査員としてのゼミ生が参加し（2 月）、同コンクール内の「国分寺物語賞」の選考を行った。
- ④ 多摩大学「アクティブラーニング祭」で一部「国分寺物語」などのコラボ活動の報告を行った（12 月）。
- ⑤ TFT（Table For Two）のプロジェクト（売上 1 食あたり 20 円をアフリカの子供たちの給食費に寄付）において、TFT×生協とのコラボで健康ランチの提案及びプロモーションを行い、TFT ランチによる 40,000 円を超える寄付を行った。
- ⑥ 葵祭の模擬店において、こくベジを使用した商品を販売し、こくベジの存在と認知を高めた。
- ⑦ J R 東日本×アンビー×小木ゼミによる西国分寺のお土産プロジェクトでお土産の販売手伝いをを行った。



国分寺写真コンクール



TFT プロジェクト



葵祭



にしこくおみやげプロジェクト



(3) ソーシャルインクルージョンのための就労・社会参加支援

経済学部教授 尾崎 寛直

期間:2024 年 5 月 1 日(水)から 2025 年 2 月 9 日(日)まで

当ゼミでは、①、②の柱をベースに地域の障害者福祉を担う社会福祉法人および NPO 法人とのコラボ事業を行ってきた。

①については、障害のある人たちの地域就労を目指して、「バリアをバリューに変える」を理念に掲げ、国分寺市障害者センター（社会福祉法人万葉の里）、ともしび工房（社会福祉法人ななえの里）、泰山木（NPO 法人泰山木）とのコラボレーション事業を引き続き展開してきた。学生たちは経済・経営の知識を応用しながら、障害のある人たちの仕事づくりの「価値共創」をめざして、商品開発やマーケティング・リサーチを通じた商品開発や付加価値創出、販売の工夫などの試行を繰り返し、机上学習と現場実践との往復でコミュニティビジネスを体得してきたといえる。

学外での販売実践としては、障害者センターのミニ縁日（8 月）及びオープンデー（10 月）、国分寺まつり（11 月）、駅ビルマルイ（11 月）、駅ビルセレオ（12 月障害者週間）、泰山木まつり（2 月）、国分寺障害者施設お仕事ネットワーク設立 20 周年記念イベント（3 月予定）、に参加してきた。いずれも若い学生が参加したことで一層注目も集まり、当事者の地域就労の定着に向けて貢献できたものと考えている。

②については、就労は難しい重度障害のある人たちに対して、スポーツなどの活動支援を切り口に社会参加と健康活動を兼ねた行事を行ってきた。ほぼ毎月 2 回の定例活動として、障害者センター多目的ホールや都立武蔵国分寺公園の原っぱなどを使って、独自のスポーツのルールや競技を考案し、一緒に楽しみながら当事者の社会参加と QOL 向上に貢献してきたといえる。

このように、障害のある当事者が地域の中で「目に見える」販売実践活動をしたり、スポーツを通じた外出支援による社会参加活動をしたり、といったかたちで国分寺地域におけるソーシャルインクルージョンの土壌づくりに貢献できたと考えている。



(4)英語で遊ぼう

全学共通教育センター教授 カレイラ松崎順子

期間:2024 年 12 月 16 日(月)

国分寺市に在住する児童が、本学の教員と学生の指導を受けながら英語で日本も含めた世界の文化を体験し、英語を楽しく学ぶことが目的である。このような内容に重点を置いた英語教授法は Content and Language Integrated Learning(CLIL)と呼ばれ、特に、児童の英語学習に効果的であるといわれている。本学教員は特任教員エリック先生とハンズローヴスカ先生に参加してもらった。学生ボランティアは Advanced English を履修している学生の他、申請者らが担当している授業を受講している学生などが参加した。当日は以下の4つにわかれて、児童が順番に参加した。ボードゲームで英語を学ぼう！ 茶道を英語で学ぼう！ 折り紙を英語で学ぼう！ 世界の文化(イギリス)を英語で学ぼう！

地域連携・社会貢献の観点からどのような成果があったか

本プログラムは、国分寺市在住の児童が英語を実践的に学ぶ機会を提供し、地域との連携を強化する重要な取り組みとなった。以下の点において、地域社会への貢献が見られた。

大学と地域の協働による教育活動の推進

本学の教員および学生ボランティアが指導に携わることで、大学の教育資源を地域社会へ還元することができた。特に、特任教員のエリック先生とハンズローヴスカ先生の指導のもと、高度な英語力を持つ大学生との交流が、児童にとって大きな刺激となった。また、大学生にとっても、地域貢献活動に参加することで、英語教育に関する実践的な経験を得る機会となった。

地域の子どもたちと大学生の交流の場の創出

本プログラムでは、学生ボランティア(Advanced English 履修者や申請者の授業を受講している学生)が積極的に関わり、児童と直接触れ合う機会が生まれた。英語学習を通じたこの交流は、児童にとって「英語を学ぶことが楽しい」という実感につながり、学習意欲の向上が期待できる。また、大学生にとっても、教育的な視点で児童と関わる経験が、将来のキャリア形成に活かされる。

本プログラムを通じて、大学と地域の児童・保護者・教育関係者とのネットワークが構築された。このような関係性は、今後の英語教育プログラムの発展や、さらなる地域貢献活動につながる土台となる。継続的な取り組みを通じて、国分寺市全体の教育環境の向上に貢献することが期待される。



(5)ポッドキャスト番組「国分寺レイディオ」

第3シーズン「国分寺ミュージック Dig!」制作と発信

地域連携センター 笹川 克也

期間:2024 年 12 月 12 日(木)から 2025 年 2 月 28 日(金)まで

内容については、「国分寺ミュージック Dig!」を総合テーマに、国分寺に関する音楽やミュージシャンなどについて、現在と 70 年代を中心とした過去を取り上げている。

具体的には、2022 年から行われている地域音楽イベント「こくフェス」を立ち上げた実行委員長である冬木義郎さんに「こくフェス」の立ち上げから現在までをうかがい、さらに国分寺の現在の音楽状況や 70 年代を中心とした過去の音楽状況についてもうかがった。

なお、当初は国分寺の音楽イベントなどに多数出演されているアーティストの方々に演奏していただく公開収録も予定していたが諸般の事情により年度内の開催ができなかったため、全 5 回の予定が 4 回になった。

全 4 回の番組のタイトルは以下のとおり。

第 1 回 国分寺に「フェス」をつくる part1

第 2 回 国分寺に「フェス」をつくる part2

第 3 回 70 年代の国分寺と音楽

第 4 回 現在の国分寺と音楽

編集が終了したものから、2023 年度と同様、広報課の協力により、本学公式ウェブサイトの「国分寺を深く知る」(国分寺学派の頁の下部)に 3 月下旬以降順次掲出を予定している。



3. 学生の社会貢献活動助成

(1) TKU 子ども交流会

常森裕介ゼミ有志 鈴木 公基

期間：2024 年 8 月 23 日（金）

●企画内容

- ・子どもが楽しめるゲームや遊びを用意する（謎解きスタンプラリー、ちぎり絵、スポーツ）
- ・集まった子どもや保護者と交流し、子育て世帯を支援する情報についてチラシ等を通じて提供する。
- ・イベントの前に子供たちと交流するために訪問を行った(5/21,5/28,6/11,6/25,7/9,7/23)

●成果・反応

(1) 当日の流れ

12:00 お菓子、備品の購入、荷物（模造紙等）を大学から持参

13:00 児童館集合

13:30 イベント開始

・イベント①スポーツ

ドッジボール→しっぽとり→ビーチバレー→サスケという順で、男女にグループ分けして、時間ごとに区切って実施した。しっぽとりが人気であった。逆にビーチバレーが不評であったため再度検討し、サスケに変更した。幼児だけの時間もあった(2 人来てくれた)。

男女で分かれたから参加しやすいという子どもたちもいた。

・イベント②ちぎり絵

最初は誰も参加者がいなかったため、下の階に呼び込みに行った。その後 3 人くらい参加し、スポーツイベント終わりで 4 人さらに 3 人と増えた。親子での参加もあった。

2 枚完成し、うち 1 枚を児童館に飾ってもらえた

・イベント③スタンプラリー

最初は参加者が少なかったが、スポーツが終わった子どもに用紙を配ると参加者が増え始めた。

クイズの難易度がちょうどよく、もう 1 回挑戦してくれた、興味なさそうな子にも声をかけて参加してもらえた。

16:30 終了

17:00 片づけ終了 帰宅

●成果

- ・事前のボランティア参加も含めて、地域の子ども及び保護者、また子どもの支援に携わる児童館の人たちとの間で関係を構築できた。
- ・大学生が主体となってイベントを実施することで、地域の子ども達に多様な触れ合いの機会を提供することができた。

以上、大学を含めた地域連携を深化させるとともに、地域の子ども達への遊びや人間関係構築の機会を提供することで、地域社会に貢献することができた。



(2) SDGs 学生委員会葵祭、企画及び SDGs 啓発

SDGs 学生委員会 須田彩音、村野顕成、小柳津浩貴、山崎菜緒

期間：2024 年 4 月 1 日（月）から 2025 年 2 月 28 日（金）まで

2024 年 SDGs 学生委員会では、下記の企画を実施しました。

① 中村農園での収穫体験（7/13）



7 月 13 日（土）に、今後、葵祭や様々なイベントで関わってくる「こくベジ」についての知識を深めるため、国分寺の中村農園のご協力の下、収穫体験を行なった。

実際に中村農園の農場に出向かせてもらい体験したことにより、どのような物を育てているのか、どういった工夫がされているのかを知ることができた。終了後、「こういった収穫体験を実際にやれて、よりこくベジへの理解が深まった」「自分たちの暮らす地域の取り組みを目で見て学ぶことができた」という感想が委員からあった。

「こくベジ」が地域に大きく貢献していること、様々な工夫や取り組みの結果として野菜が作られて地域を支えていることなどが、こくベジの収穫体験を経て理解することができた貴重なイベントだった。

中村農園様への手土産代として 2160 円を助成金から使用した。

② 葵祭での「こくベジ」のサツマイモを使った大学芋の販売（11/3・4）



SDGs 学生委員会初の試みとして、11 月 3 日（土）～4 日（日）の葵祭でこくベジのサツマイモを使った大学芋を模擬店で販売した。

目的は SDGs 学生委員会の活動や国分寺で作られている「こくベジ」を知ってもらうことである。

主に 2 年生の委員を中心として会議や準備を行ない、委員会内で情報共有のもと取り組んだ。

国分寺ファーマーズマーケットで購入したサツマイモを用いて試作を重ね、当日は手作りの大学芋をカップ 1 個 300 円で販売した。

残念ながら SDGs の啓発パネルを作成することはできなかったが、その分を材料費や器具に回し、当日自作の看板やお客様とのやりとりの中で、国分寺で採れた野菜を使っていることや我々の活動の内容について周知をすることができた。

お客様からも「できたてでおいしい」、「SDGs にはこんな活動もあるんだ」といったお言葉をいただいた。

初めてのことで多量の改善点や準備不足なところはあったが、自分たちで一から考え、試行錯誤して作り販売し、お客様と触れ合い話すことができた体験は非常に貴重であり、今後の SDGs の啓発活動に生かせるような大きな経験になるような活動だった。

来客者は2日間合計で約 100 人。1 日目は約 80 個、2 日目は約 100 個売れ完売することができた。総売上は 44,950 円、かかった総費用は 57,281 円(生協レンタル代含む)である。材料費や調理器具代などの経費は総売上から差し引き、ガスボンベなどの生協レンタル代と葵祭設備賃貸料については助成金の中から 32,328 円を使用した。補償費は返還されたため生協レンタル代に補填した。総売上から経費を引いた残額は 20,000 円となり、国分寺市社会福祉協議会に全額寄付した。

③ セレオ国分寺との協働企画「サステナぶんじ」の実施 (11/23・24)



11 月 23 日(土)～24 日(日)に、セレオ国分寺との協働企画である「サステナぶんじ」で、クイズラリーとワークショップを実地した。「自分ごと化」をテーマに企画をし、工作やクイズラリーを体験してもらいながら SDGs についての啓発を目的に活動した。

1 日目はクイズラリー40 名、ワークショップ 35 名、2 日目はクイズラリー35 名、ワークショップ 29 名が参加してくれた。費用はセレオ国分寺から予算をいただき、その中で景品のクッキーや材料費を支払ったため、助成金は使わなかった。

クイズラリー・・・セレオ国分寺様のテナントにご協力いただき、SDGs に関連した問題を 1, 2, 6, 7, 8 階の店舗の方にクイズを設置して、お客様にスポットを巡っていただいた。各階で問題を解いて言葉を集めていき、最終的に 9 階の受付まできて「自分ごと化」という文字が完成するものとなり景品として「ともしび工房」様のクッキーが贈呈された。

⇒お客様からは「SDGs は身近なところにあるんだと知れた」「いろんな問題が解けて楽しかった」「大人でも楽しめた」との言葉をいただくことができた。

セレオ国分寺での SDGs の活動を知ってもらうとともに、SDGs をより身近なものとして感じてもらえるような活動になった。

ワークショップ・・・ペットボトルのキャップを使い、折り紙や装飾をしてオリジナルのマグネットを作ってもらった。来ていただいたお客様には、自分で装飾品や色紙の色などを選んでいただき、委員の説明を受けながら自分や家族と一緒にマグネットをつけたり、絵を描いたりしながら制作を楽しんでいた。

⇒お客様からは「一から自分で作れて楽しい」「これなら家のものでもできそう」「SDGs にはこんなものもあるんだ」「子供と一緒に作れてうれしい」といったお言葉をいただいた。



家にある物でも SDGs に関連したことができることを知ってもらえ、制作を楽しんでいただくことができ、地域の方々と楽しく触れあえる SDGs の啓発活動となった。

④ SDGs 啓発ステッカーの学内貼付

昨年度の助成金により作成したステッカーがまだ余っているため、ステッカー作成の助成金は使わず SDGs 啓発ステッカーの学内貼付を行う予定である。

(3) 葵名人会

落語研究会 須原 葵

期間：2024年12月21日（土）

コロナ禍の影響で不開催が続いていた「葵名人会」を5年ぶりに再開し、ココブンジプラザ5階リオンホールで2024年12月21日（土）夜に開催した。

2019年度まで演者は本会構成員と春風亭柳橋師匠で行っていたが、今回は地域で交流している境南小6年生の2名を招き、総勢7名が出演した。多くの方々に来場いただき盛況のうちに終了することができた。

なお、今回は初めてグーグルフォームを併用してアンケートを行ったが結果は以下の通りであった。

来場者の35%が60代、21%が70歳以上、約30%が50代だった。来場の理由としては、「春風亭柳橋の落語を聞きたかった」が57%。集客の主な理由は柳橋師匠の出演によると考えられる。

また来場者の約30%が「初めて東経落研の落語会に来場した」とのことで、地域への還元という面をある程度達成できた。「会に満足できたか」という質問に満足、大変満足が合わせて75%を超え、また普通も合わせると90%であった。会としては成功し、地域貢献、社会貢献活動はできたと考える。次年度以降も継続していきたい。

出演者 境南亭 左努ヶ志摩（境南小6年）、零細亭 百姓（部員）、寄楽志来亭 おあと（部員）
葵亭 あすか（部員）、春風亭 柳橋（OB プロ）、冬風亭 松戸（部員）、
葵亭 鶏心（部員）



4. 2024 年度 SDGs 学生委員会の活動報告

(1) 森林管理活動

【日 時】7 月 13 日(土)

【場 所】東京経済大学 新次郎池周辺

【内 容】新次郎池周辺の外来種の樹木や虫に侵食された木を、業者の方のご指導の下のこぎり等の工具を使い伐採した。



実際に大学を出て、新次郎池の水がどこからきているのかといったことを確認した



なお活動の事前学習として、これまでの池周辺の植生環境、現在の池の形になるまでの過程、それに関連する活動について本委員会顧問より説明を受けた。また池周辺の環境がどのようなになっているのか実際に学外へ出て見て回った。

(2) 国分寺マルイ コラボイベント

【日 時】7 月 20 日(土)・21(日)

【場 所】国分寺マルイ 1 階催事場

【内 容】国分寺駅ビル 35 周年イベントとして「こくベジ」の野菜や果物、こくベジを使って作った弁当やスイーツを販売するイベントが開催され、SDGs 学生委員会として手伝いをした。主にレジや呼び込み等をおこない、来場者にこくベジの魅力を伝えるよう尽力した。



(3) 葵祭

【日 時】11 月 2 日(土)・3 日(日祝)

【場 所】東京経済大学

【内 容】地産地消を促し、こくベジのアピールをしながら国分寺産のさつまいもを使った大学芋を販売した。収益は国分寺市社会福祉協議会へ寄付した。



～準備の様子～

菜祭 大学芋 試作報告

① さつまいも：3本(450グラム以上ある大きなもの)
カット：5分
→皮は剥がなかった
水におく：15分
加熱：10分
→その後調味料を全て入れて5分炒める。
※ちよっと軽すぎたからもっとやった方がカリッとなるかも。



② さつまいも：3本(110g程度の小さなもの)
カット：1本につき10分
※皮も落して剥いた
水につける：10分
加熱：180°で5分
→更にその後調味料を全て入れて3分炒める。
→火を切り余熱で2-3分炒める。



3本使ってちょうど大学芋の30本分完成
→カップ(250ml)に15本入れる。



③ さつまいも：3本(110g程度の小さなもの)
カット：1本につき3分
※皮もピーラーで剥いた
水につける：10分
加熱：9分
→その後調味料を全て入れて6分炒める
※ずっつと蓋をつけて焼いていたから柔らかめになりました



375mlのカップに完成した量の半分位を入れたが、中がスカスカになってしまったので、半分くらいの容量のサイズのカップのが良さげ



昨年とは異なり、本年度の菜祭では大学芋を販売する模擬店の出店を行った。主に2年生を中心に情報の共有や模擬店で何を出すかといったことを会議で話し合い、準備を進めた。

必要な材料や調理器具の調達、また、国分寺の農家さんや農協の方と連絡を取り合い、さつまいもを調達したり、試作も行い、調理時間や調理方法についても確認を行った。

(4)セレオ国分寺コラボイベント「サステナぶんじ 2024」

【日 程】11月23日(土)・24日(日)

【場 所】セレオ国分寺 9階

【内 容】「アップサイクル」をテーマとした体験型イベントを企画・準備・開催した。

セレオ国分寺と密に連絡をとりながら準備を進めイベント当日は廃材を用いた工作のワークショップならびにスポットラリーを実施し、2日間で約140名が参加した。



事故を防ぐためにハサミなど刃物を使う細かい作業等は事前に委員が行った



ワークショップではキャップマグネットづくりを行った。使用したキャップは委員各々が家で集めたものを洗って使用した



目線を合わせて会話しながら参加者の方が作品を作るのを手伝い

クイズカード

クイズカード

クイズカード

クイズカード

クイズカード

昨年と同様に店舗に因んだクイズを作成して店舗前に設置し、クイズに回答して暗号を解いてもらうクイズラリーを実施



スポットラリーを続けた後は景品であるとしび工房さんのクッキーをGET!

(5)子ども食堂

【 日 時 】 毎月 1 回の開催（月末の日曜日）

【 場 所 】 本多公民館・もとまち公民館

【 内 容 】 本多公民館、もとまち公民館で開催される「こども食堂」の手伝いに参加した。

主に子どもたちと一緒にボードゲームなどで遊んだり、昼食を一緒に食べたり、会場設営や片付けなどをおこなった。



Ⅲ. 産学連携

1. 西武信用金庫との連携事業「地域連携スチューデントアワード 2024」

産学官金の地域支援機関が連携した本事業は、大手企業の開放特許をテーマとした昨年度までのアワードから、今年度は地域企業の持つ商材やサービスに対し、これまでの市場にない斬新な商品アイデアの創造と中小企業がアイデアを商品化することを狙いとするアワードへ変化しました。

本学から参加した5チームは、西武信用金庫、東京都中小企業振興公社および活用技術・サービス提供企業等のサポートを受けながら、約7か月間にわたって商品アイデアのブラッシュアップを図りました。

10月に実施した学内選抜で選出された3チームが、12月開催の西武信用金庫が主催する最終報告会に臨みました。報告会の中野にある西武信用金庫本部にて対面で開催されました。

【開催要項】

日 程：2024年12月11日（水）

会 場：西武信用金庫 本部8階（東京都中野区中野2-29-10）

主 催：西武信用金庫

共 催：Open Patent Innovation Consortium（略称：OPIC）

発 表 者：亜細亜大学、嘉悦大学、昭和女子大学、東京経済大学、東洋大学、目白大学
6大学 計14チーム

提供企業：株式会社キャリアコンサルティング、株式会社コスモテック、株式会社NIYAGO、
武蔵野デリー株式会社、Yolni株式会社

【参加チーム】

コクジョ (小木紀親ゼミ)	アイデア名：てぬぐっど 活用技術・サービス：普段使いできる伝統工芸品ブランド「これいい和」 (株式会社キャリアコンサルティング)
ミルクボーイズ (北村真琴ゼミ)	アイデア名：ミルクマニア計画 活用技術・サービス：CRAFT MILK (武蔵野デリー)
Global Step Covers (小木紀親ゼミ)	アイデア名：地球の足跡カバー 活用技術・サービス：履き心地とファッション性に優れたサンダル用トングカバー (株式会社NIYAGO)
漆職人 (小木紀親ゼミ)	アイデア名：Urushell 活用技術・サービス：普段使いできる伝統工芸品ブランド「これいい和」 (株式会社キャリアコンサルティング)
コブシ (北村真琴ゼミ)	アイデア名：痴漢未然防止機能 活用技術・サービス：履き心地とファッション性に優れたサンダル用トングカバー (株式会社NIYAGO)

【全体の流れ】

キックオフ会
専用サイトオープン
6月

大会についての説明、活用技術・サービス等の概要説明動画が公開となりました。

アイデア記入シート
提出
8月30日(金)
締切

「チーム名」「アイデア名」「活用商品・サービス」等を記入したアイデア記入シートと「参加学生写真」を提出します。
提出後、専用サイトにチーム情報として公開されます。

プレゼン資料
データ提出
9月27日(金)
締切

学内選考会のプレゼンテーション資料をパワーポイントで作成し、地域連携センター宛てに送信しました。

学内選考会
(場所:進一層館)
10月2日(水)

学外審査員 3名(+尾崎寛直教授)

- 真壁 広大氏
(西武信用金庫 西国分寺支店)
- 池 敬澄氏
(西武信用金庫 事業支援部)
- 鈴木 康平氏
(西武信用金庫 事業支援部)

中間発表会

10月18日(金)

学内選考で選出された下記 3 チームがブラッシュアップ会と本選へ出場しました。

- ・北村ゼミ「ミルクボーイズ」「コブシ」
- ・小木ゼミ「Global Step Covers」

2024 年度地域連携スチューデントアワードは 6 月にスタートし、提供される地域企業独自の技術やサービスなど大会の詳細が公開されました。本学からは 5 チーム 18 人が参加し、商品のアイデア創出、事業化計画、アンケート調査、中小企業への調査等、プレゼン資料の作成・発表に取り組みました。

10 月 2 日 (水) に行った学内選考会で、武蔵野デリー株式会社の「CLAFT MILK」を使用し『ミルクマニア計画』のプレゼンを行った「ミルクボーイズ」(北村ゼミ)、株式会社 NIYAGO の「履き心地とファッション性に優れたサンダル用トングカバー」を使用し『地球の足跡カバー』のプレゼンを行った「Global Step Covers」(小木ゼミ)、Yolni 株式会社の『防犯アクセサリ「Yolni」』を使用し『痴漢未然防止機能』が選ばれ、本選に出場しました。

本選は 12 月 11 日 (水) に中野の西武信用金庫本部 8 階にて対面で開催されました。6 大学から 14 チームが出場し、本学の「コブシ」が優秀賞を受賞しました。表彰式後の懇談会では、西武信用金庫の理事長などと懇談を行いました。



【プレゼン資料】

1. コクジョ 『てぬぐっど』

①



②



③



④



⑤



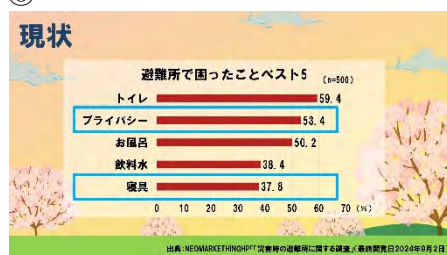
⑥



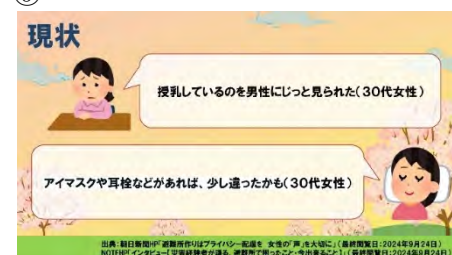
⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



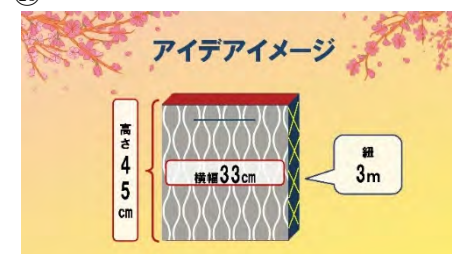
⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



40



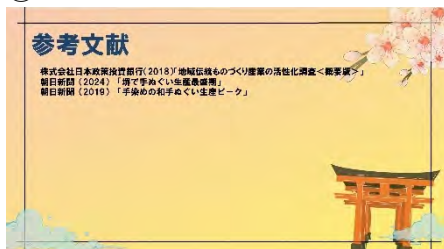
④



④



43



44



⑪

イベント概要

【第3部】 ミルクを使ったクラフト体験

ミルクを使った簡単な食品作り（例：バター、アイス）を体験し、牛乳の活用法について学ぶ

振ってバター体験！！

ミルクアイス作り体験

18

イベント概要

【第5部】自由研究サポート（夏休み限定）

子どもたちが自宅で自由研究を進められるよう、サポートガイドを提供



自由研究お助け塾

無料

CRAFT
STAND
夏休み限定

※各会場、参加費無料のワークショップを開催いたします！





※各会場、参加費無料のワークショップを開催いたします！

トップ

テーマを決めよう
自由研究のテーマを決めよう



トップ

準備しよう
必要な材料や道具を準備しよう



トップ

クラフトを学ぶ
自由研究の基礎を学ぶ



トップ

制作しよう
自由研究のテーマに沿って制作しよう





自由研究サポートガイド

①各会場ワークショップを開催します！

①各会場ワークショップを開催します！

ワークショップ






①各会場ワークショップを開催します！

19

4.展開案

A simple line drawing of a cow with black and white patches, standing and facing left. It has a small horn on its head and a tail with a tuft at the end.

20

イベント概要

【第1部】イベントガイダンス

【第2部】ゲームで学ぶクラフトミルク

【第3部】ミルク試飲体験&味比べワークショップ

【第4部】ミルクを使ったクラフト体験

【第5部】自由研究発表会

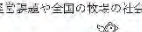
中高生向けバージョンに!!!

21

展開案

中高生向けのイベント

生配信である酪農家の経営講座や全国の牧場の社会貢献に目を向けてもらう



牛生ゲーム
酪農家ver

基本ルール

動かす駒は「酪農家」を使い、最終的にお金を多く獲得している人の勝利

ゲームの狙い

酪農家が抱えている現状の課題や社会問題を認識してもらう

22

The diagram illustrates three promotional methods:

- 記事 (Article):** Represented by a smartphone displaying a news article from 'LINE NEWS'.
- SNS投稿/拡散 (SNS Posting/Distribution):** Represented by a smartphone displaying a post on the 'Instagram' app.
- 店頭前広告 (Storefront Advertisement):** Represented by a vertical signpost with text in Japanese, including '牛乳' (Milk) and '参議院' (Sangin).

23

24

参考文献

- ・『日本大学入学生院会が学問の発展を』 第168号・2巻第2号 8頁, 113・122 2024.9.10閲覧
<https://www.u-n.ac.jp/download/cv/162832787.pdf>
- ・二〇二〇年代 朝食のない「はちやうで」を飲み込む 2024.9.10 閲覧 <https://t.me/h1-mb14>
- ・ベクトルモデルで深まるたけやん。おうちでやってみよう。 2024.9.17閲覧 <https://t.me/wxwxdx1438011619646>
- ・スマホとカメラでやる【1日10分】に決まる「ミラクルクワン」の秘伝を伝授中 2024.9.15閲覧
https://t.me/ironman_jp_archive/2022/34/55/66169.html
- ・Instagramで最新型デリー CHAP | M K STAND (アキラヘイ2024/9/24)
<https://www.instagram.com/mkstand/journal/71481-0195714dr?z=2>
- ・Winnews (ウィズニュース) | アクサスE: 2024.9.24: <https://winnews.jp>



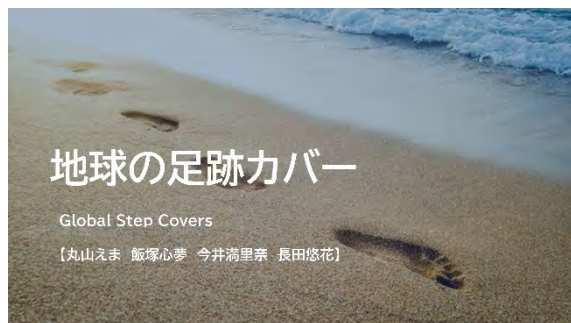
25

ご清聴ありがとうございました！



3. Global Step Covers 『地球の足跡カバー』

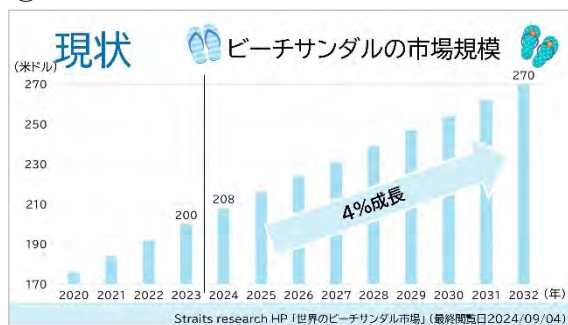
①



②

目次	
01	現状
02	提案
03	アイデアイメージ
04	メリット
05	購入までの流れ
06	導入までの流れ
07	事業計画
08	今後の展望

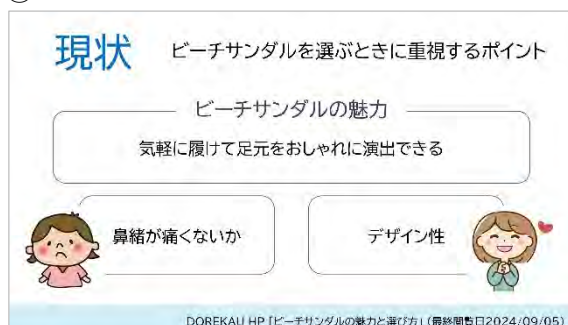
③



④



⑤



⑥



⑦



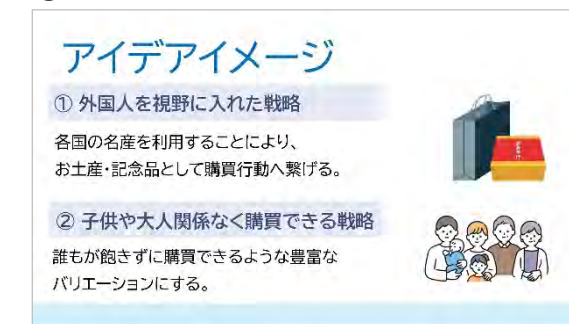
⑧



⑨



⑩



⑪

アイデアイメージ(価格)

	【株式会社NIYAGO価格】	【提案商品】
	980円(2個セット)	500円(単品)1000円(2個セット)

	販売価格	原価	利益率
2個セット	1,000円	900円	10%
単品	500円	450円	

⑫

メリット

①環境に優しい

毎年、海洋プラスチックが800万トンも排出。
日本近海での漂着ごみの80%以上がプラスチックであり、そのほとんどが有効利用されずに廃棄・埋め立て処分になっている。

海洋プラスチックを装飾部分に再利用する
→ 海洋ごみを減らしていくことができる

出典: CLEAN OCEAN PROJECT HP「海洋プラスチック」(最終閲覧日2024/08/28)

⑬

メリット

②リピーターが見込める

シリーズ化
↓
購買意欲の促進

⑭

メリット

③ビーチサンダル以外にも

- 雪駄
- 下駄
- マグネット
- コード収納
- 鼻緒がある厚底サンダル

⑮

購入までの流れ

```

graph LR
    A[専用サイト] --> B[好きな国を選ぶ]
    B --> C[好きなパーツを選ぶ]
    C --> D[購入カゴに入れる]
    D --> E[購入完了]
  
```

⑯

購入までの流れ

```

graph LR
    A[専用サイト] --> B[好きな国を選ぶ]
    B --> C[好きなパーツを選ぶ]
    C --> D[購入カゴに入れる]
    D --> E[購入完了]
  
```

⑰

サイト画面(イメージ)

⑱

サイト画面(イメージ)

⑲

日本 JAPAN

¥000
 ¥000

⑳

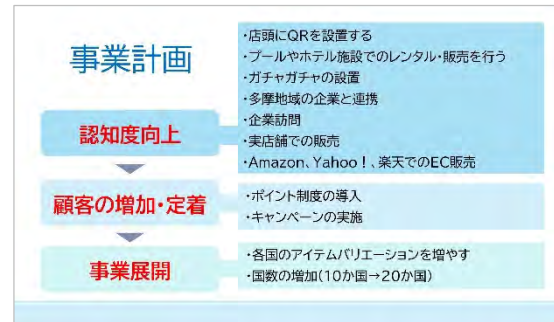
日本 JAPAN

¥000
 ¥000

21



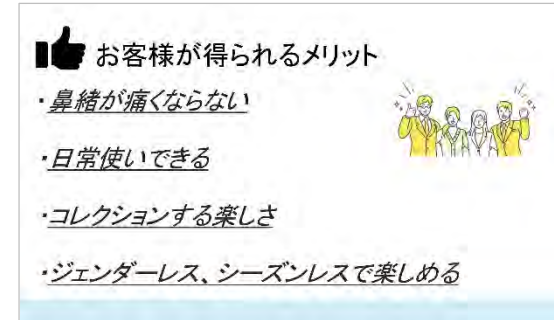
22



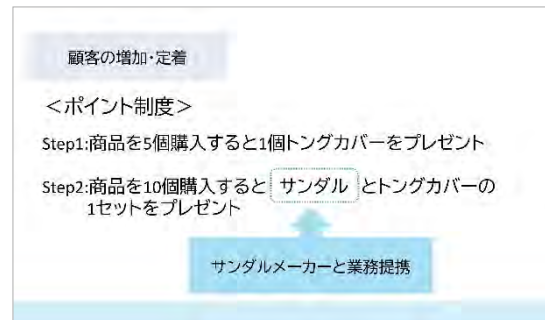
23



24



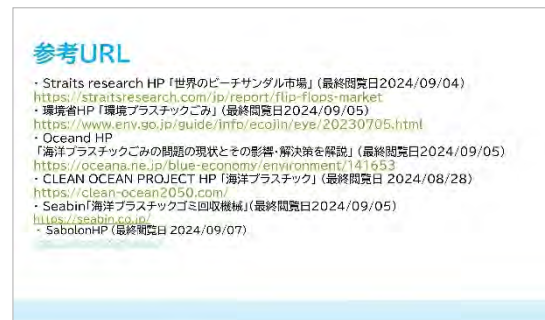
25



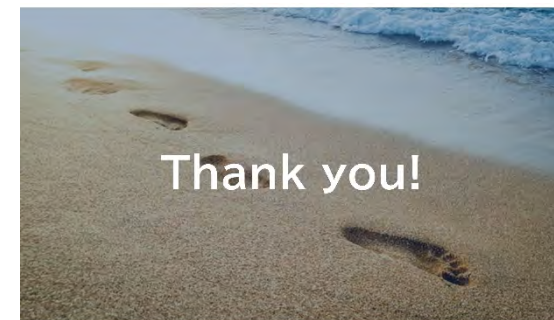
26



27



28



4. 漆職人 『Urushell』

①

漆職人『宇野 寛介 久保 昌理 中村 寛心』

②

目次

1. 現状
2. アイディアイメージ
3. 導入までの流れ
4. 今後の展望
5. 参考URL

③

これいい和
Made In Nippon

④

現状

伝統工芸品の従業者数と生産額

年	従業者数 (千人)	生産額 (億円)
2003	103	209
2010	71	118
2011	72	101
2012	70	104
2013	69	105
2014	67	102
2015	65	102
2022	54	87

出典:『文芸春秋』(2023年)に掲載された「伝統工芸品の現状と未来」(2023年4月)

⑤

現状

伝統工芸品の従業者数と生産額

年	従業者数 (千人)	生産額 (億円)
2003	103	209
2010	71	118
2011	72	101
2012	70	104
2013	69	105
2014	67	102
2015	65	102
2022	54	87

出典:『文芸春秋』(2023年)に掲載された「伝統工芸品の現状と未来」(2023年4月)

⑥

現状

伝統工芸品について希求する点

点	割合 (%)
デザイン性	53.3
品質	50.2
歴史的・文化的価値	47.3
地域性	39.5
込められた思い	25.8

出典:『文芸春秋』(2023年)に掲載された「伝統工芸品の現状と未来」(2023年4月)

⑦

これいい和
Made In Nippon

⑧

⑨

ターゲット

新入社員

大学卒業時や就職時に贈呈する記念品

⑩

これいい和
Made In Nippon

⑪

Q.幸運を象徴する生き物といえば？

天道虫(てんとむし)

太陽に向かっておぼたけ様子から「幸運の象徴」「神の使い」などとされている。

⑫

新しい環境で仕事を始める新入社員の皆さんに

漆 × マルチケース

「幸運」が訪れますように。

⑬

大事な製品をしっかりと保護

Uru Shell

耐久性に優れた漆効果で

⑭

アイディアイメージ (表)

⑮

アイディアイメージ (表)

⑯

アイディアイメージ (裏)

エチケットブラシ

⑰

アイディアイメージ (裏)

エチケットブラシ

⑱

アイディアイメージ (裏)

クリーナー

付け替え型

⑲

ここが押しポイント！！

奥の素材 別売りの付け替え型

色々な使い方ができる

継続的な購買意欲につながる

⑳

ここが押しポイント！！

漆のケースをてんとう虫モチーフにすることで……

漆料の色である赤と黒を活かすことができる

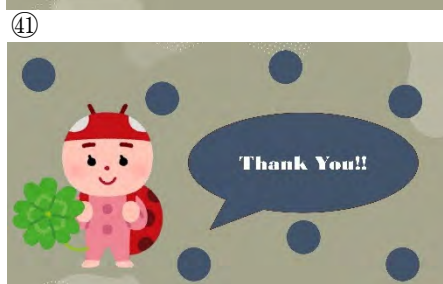
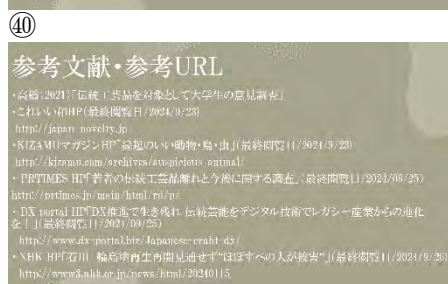
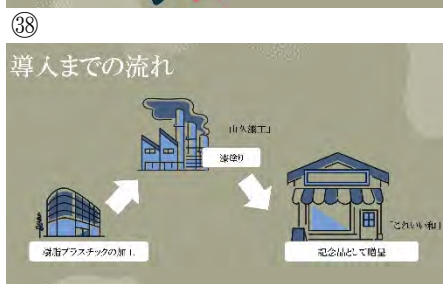
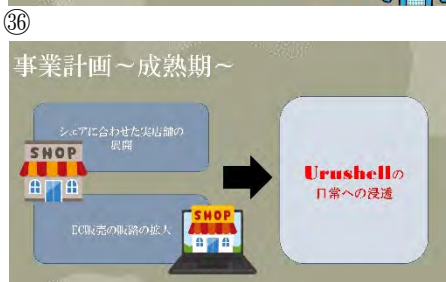
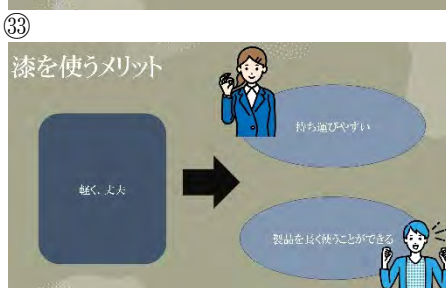
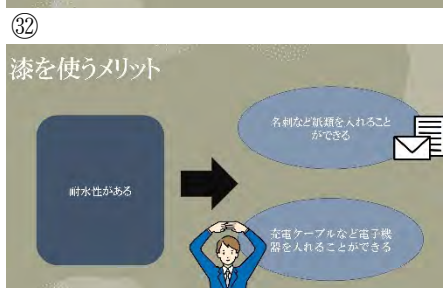
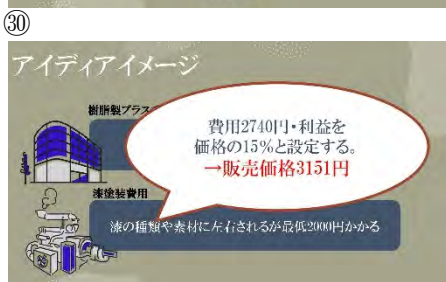
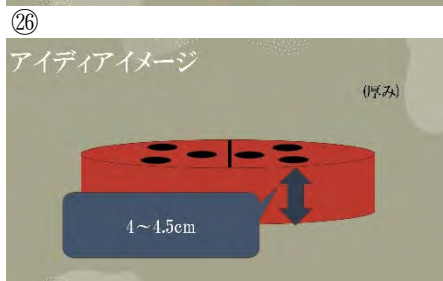
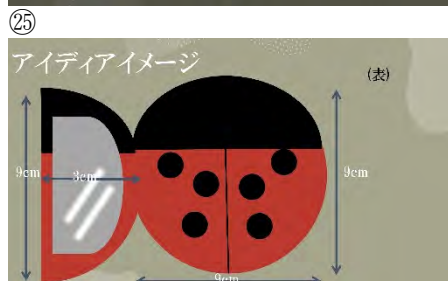
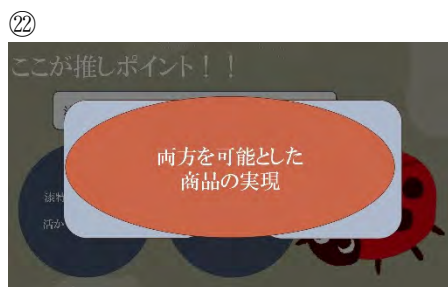
漆を使いつつ作らばさのないデザイン性を実現できる

㉑

ここが押しポイント！！

デザイン性

歴史的・文化的価値

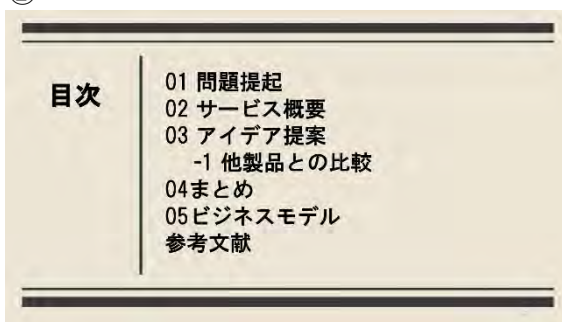


5. コブシ『痴漢未然防止機能』

①



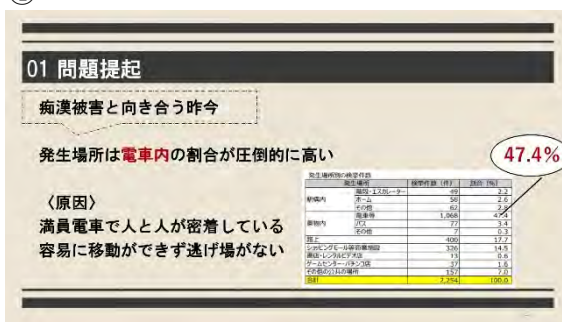
②



③



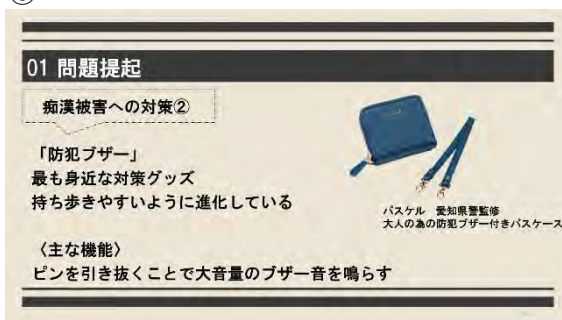
④



⑤



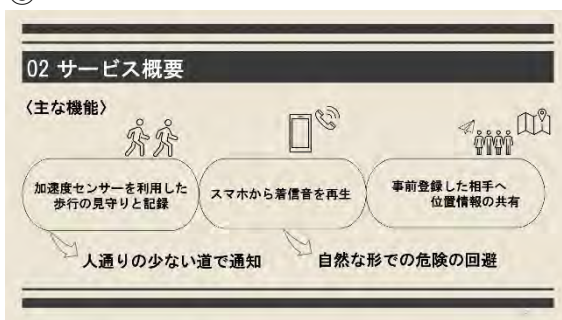
⑥



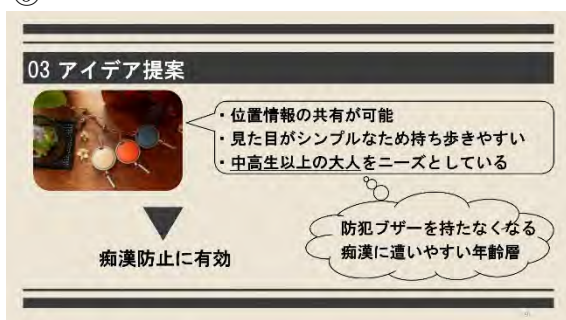
⑦



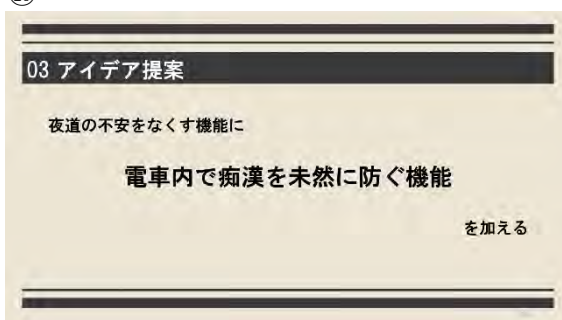
⑧



⑨



⑩



11

03 アイデア提案

通勤・通学時

不自然に人が近づいてきて、不安に感じる…



12

03 アイデア提案



13

03 アイデア提案



yolniを複数回握る

スマホ経由で電車内ビジョンに
不安情報を表示

14

03 アイデア提案



さらに、ピンを引き抜くことで登録した友人や家族に位置情報の通知が届く

“いきなり110番や警察ではなく、
親しい人と連絡を取ることで安心する”

15

3-1 他製品との比較

	yo!ni	デジボリス	防犯ブザー
タイミング	事前	事後	事後
タイプ	デバイス+スマホ	スマホ	デバイス
手段	周囲のスマホや ビジョンに通知	自身のスマホの画面 を見せる	ピンを引き抜く
範囲	車両全球+家族等	周囲2、3人	音の響く範囲
価格	高価	無料	安価

16

04 まとめ

【現状】
痴漢被害に遭っている状態や被害後に助けを求めるツール
必要とされているのは“被害前の対策”

アイデアの独創性

【提案】
被害前の違和感や不安に着目し、
自分を守るためのツール

⑪

04 まとめ

痴漢被害は周りの人を頼りづらい
なかなか言い出せない

不安を一人で抱え込まない
安心アクセサリーとして浸透

18

05 ビジネスモデル



19

参考文献

- ・Yahoo! HP
<https://yahoo.jp/> (2024/09/22最終閲覧)
- ・Yahoo!株式会社
<https://yahoo.co.jp/> (2024/09/22最終閲覧)
- ・令和5年度 国語教育実践研究協議会
<https://www.kokugogakkaikyo.or.jp/> (2024/09/26最終閲覧)
- ・令和5年度の国語・道徳学習の進捗状況の調査結果 発表場所別の学習状況
<https://www.nps.go.jp/foru/na/kaitai/kyouka/chikan/R05chikan.toukei.pdf> (2024/09/22最終閲覧)
- ・警視庁防犯パンフ「デジボイス」
<https://www.kokuhohoho.net/kyoka/kyo/kyoshiki/kakaku/kyakame/desipocoki.html> (2024/09/22最終閲覧)
- ・Paskel 防犯ブザーサービスケース
<https://www.paskel.jp/> (2024/09/26最終閲覧)
- ・交通広告ドットコム
<https://www.trans-ad.com/> (2024/09/26最終閲覧)

IV. 学生の社会貢献活動

1. ぶんじコンシェルジュ事業

- 【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）
【活動日程】4月～3月、月曜～金曜（17時～19時）
【活動場所】国分寺市案内所（JR 中央線国分寺駅構内）

こくぶんじ観光まちづくり協会が行う講習会に参加し、「ぶんじコンシェルジュ」として認定された学生が市民や国分寺を訪れる人々に国分寺の魅力やイベント情報を発信する活動を行っています。



2. ぶんじ花まつり

- 【活動団体】Clover（ボランティアサークル）
【開催日程】4月7日（日）
【開催場所】本多慶祥寺

当日のボランティアとして、主にプラレール体験会やNゲージ運転体験で子供たちが遊ぶサポートをしたり、お祭りの最後に行われる抽選会の抽選券配布等をおこないました。



3. Welcome light up!!

- 【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ、こくスマ！（まちづくり学生団体）
【開催日程】4月10日（水）～16日（火）
【開催場所】正門付近の木々

2023年より、こくぶんじ観光まちづくり協会が開催している春の武蔵国分寺公園の桜ライトアップイベント終了後、協会所有の照明機材20基を本学国分寺キャンパス内で一時保管しています。それらを利用し、学生の入学と進級を祝う桜並木のライトアップ企画、第2回 Welcome light up!!を開催しました。鈴木特別ゼミとこくスマ！の学生達は、協力して機材の搬出・設置をおこないました。



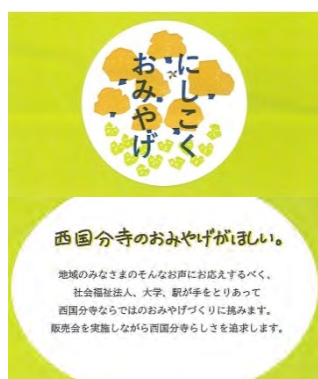
4. にしこくおみやげプロジェクト

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

【販売日程】4月26日（金）～4月27日（土）

【販売場所】西国分寺駅 改札内催事スペース

「西国分寺ならではのおみやげが欲しい」という地域の声を踏まえ、地域に根差した団体や企業との連携で付加価値を作りたいとの思いで、2023年度から発足したプロジェクトです。西国分寺駅を運営する JR 中央線コミュニティデザイン、社会福祉法人 AnnBee とコラボして 2023 年末に続く第 2 回販売会を開催しました。小木ゼミ生が共同企画・開発した多様な商品は好評で、目標を大きく上回る 2 日間で約 45 万円の売り上げを達成しました。



5. こくフェス

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）、Clover（ボランティアサークル）

【開催日程】5月11日（土）、5月12日（日）

【開催場所】国分寺市内各地

2024 年で 3 回目の『こくフェス』は、「音楽の力で国分寺をもっと元気に！」をテーマに国分寺市内全域の各所で音楽イベントが行われました。こくスマ！はイベント企画の段階から会議等に参加し、当日は西国分寺駅改札前にて 2 日間ペットボトルキャップを使った「キャップで楽器をつくろう♪」のワークショップを開催しました。また Clover は舞台設営や会場受付など様々な場所で活動しました。



6. 天ぷら海苔巻き 紅ぐま販売

- 【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ こくめしチーム
 【販売日程】5月15日(水)～5月21日(火)
 【販売場所】国分寺マルイ 1階



「国分寺市制施行 60 周年」、「国分寺マルイ 35 周年」を記念して、株式会社幕明と国分寺マルイと共同開発した『天ぷら海苔巻き紅ぐま』を期間限定で販売しました。メインの3種類に加えて販売された、「国分寺市で食べたい天ぷら海苔巻き」2種類の開発をはじめ、「ホッチ×限取り」をイメージしたチラシや熨斗のデザイン等をゼミで考案し、販売までを行いました。



7. 新緑まつり

- 【活動団体】青木亮ゼミ（経営学部）
 【展示日程】5月17日（金）～19日（日）
 【展示場所】本多公民館

第40回新緑まつりにて、「超小型モビリティについて」のパネル展示をおこないました。開催に向け年明けから他団体と協力して準備に取り組んだほか、前日と最終日には会場設営、撤去等にも協力しました。



8. METROCK2024 ボランティア

- 【活動団体】Clover（ボランティアサークル）
 【活動期間】5月18日（土）～5月19日（日）
 【活動場所】新木場 若洲公園

METROCK (Metropolitan Rock Festival) は毎年5月に開催される都市型野外ロック・フェスティバルです。Clover のメンバーは会場内のゴミの分別・回収等をおこないました。



9. 「多摩地域あるある川柳」表彰式

【活動団体】落語研究会

【活動期間】5月22日（水）

【活動場所】ミライズ立川

多摩信用金庫が運営し多摩地域の情報を発信する「たまちっぷす」が主催する「多摩地域あるある川柳2024」の表彰式がおこなわれ、落語研究会が多摩地域のあるあるを題材にした落語を披露しました。



たまちっぷす(<https://tama-tips.jp/area/blog/55-tama-aruaru-senryu.html>)より

10. 東経大名物パンプロジェクト アンケート

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ パンプロチーム（経済学部）

【実施期間】5月22日（水）～6月5日（水）

【結果公表】7月16日（火）

鈴木特別ゼミでは『実社会における問題解決力を鍛える』をテーマに掲げ、パンプロチームは葵陵会館2階のキニョン東経大店にご協力いただき活動しています。コラボパンを作るにあたり、本学の学生・教職員にアンケートを取ってニーズ調査を実施しました。結果は、今後展開する名物パンの創作や様々な企画に反映させていきます。



4. アンケート結果を踏まえた考察

- ・キニョン東経大店の利用率は男性は6割、女性は8割を超えていることから男性の利用率をあげる販売を考える必要がある。パンを購入する決め手として、男性は具材の次に見た目を重要視していることがわかったため、見た目にもこだわったパンも考えるべきである。
- ・まだまだSNSの認知度が低いため、InstagramのQRコードをキニョン 東経大店に設置するなど多くの人に存在を知ってもらう工夫をしていきたい。また先日行った外販の際にSNSをフォローすることで紅茶を渡す取り組みはSNSの認知度アップにも繋がったため続けていきたい。

11. スイーツ等の協働販売活動 ①

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】5月24日（金）

【販売場所】葵陵会館前

尾崎ゼミでは障がい者の就労支援を研究課題とし、毎年定期的にスイーツの販売を行っています。国分寺市障害者センターとのコラボ事業を通して、障がいについての認識を養うとともに、販売などを通して経済的な視点も養う事を目的としています。

ともしび班は、社会福祉法人ななえの里の関連施設である「就労継続支援B型ともしび工房」の方々が製造した多種多様なクッキーなどの第1回販売会を行いました。



1 2. スイーツ等の協働販売活動 ② (3 班合同販売会)

【活動団体】尾崎寛直ゼミ どーむ班・太陽班・泰山木班（経済学部）

【販売日程】5月31日（金）

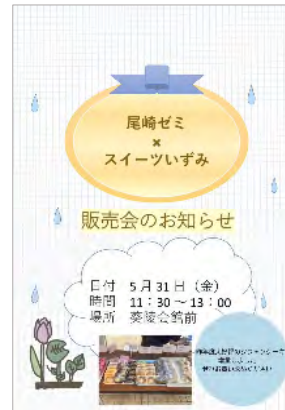
【販売場所】1号館エントランスホール

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの3つの班（どーむ班・太陽班・泰山木班）が合同で販売会を開催しました。

どーむ班は、社会福祉法人万葉の里の関連施設 就労継続支援事業B型どーむの菓子製造部門「スイーツいずみ」と協働し、メンバーが製造したシフォンケーキやフィナンシェなどの焼き菓子を販売しました。

太陽班は、社会福祉法人万葉の里の関連施設 生活介護事業「太陽」で製作された組紐や革工芸品等を販売しました。

泰山木班は「NPO 法人泰山木」と協働し、手作りパンや焼き菓子の販売をおこないました。



1 3. 多喜窪公園清掃 ボランティア

【活動団体】Clover (ボランティアサークル)

【活動期間】6月2日（日）

【活動場所】多喜窪公園

4月7日以降、毎月第1日曜日に地域住民や児童・生徒と共にゴミ拾いや花壇整備等の公園整備ボランティアをおこないました。



1 4. 防災炊き出し訓練 ボランティア

【活動団体】Clover (ボランティアサークル)

【活動期間】6月8日（土）

防災炊き出し訓練のボランティアに参加しました。災害等による非常事態に陥った時に備え、地域の方々との連携を向上させることができました。



1 5. スイーツ等の協働販売活動 ③

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）
 【販売日程】6月19日（水）
 【販売場所】1号館1階

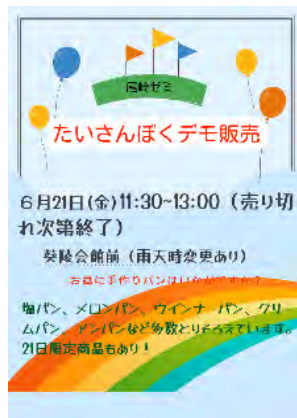
障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの
 ともしび班が、社会福祉法人ななえの里の関連施設
 「就労継続支援B型ともしび工房」の方々が製造
 した多種多様なクッキーなどの第2回販売会を
 おこないました。



1 6. スイーツ等の協働販売活動 ④

【活動団体】尾崎寛直ゼミ・泰山木班（経済学部）
 【販売日程】6月21日（金）
 【販売場所】1号館エントランスホール

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの泰山木班が、NPO 法人泰山木の方々が製造した手作り
 パンやチーズケーキなどの第2回販売会をおこないました。



1 7. Table For Two

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

Table For Two (TFT) とは、発展途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病を同時に解決する運動です。
 東京経済大学生生活協同組合とコラボして「Table For Two」に取り組んでいます。生協での TFT ランチ
 一食購入につき 20 円が寄付され、発展途上国の子供たちの給食一食分となります。

前期の TFT メニュー

○ さらっと流し込め！！ ネギトロだし茶漬け

【販売期間】 6月24日(月)～6月28日(金)
 【価 格】 420 円 (400 円 + 寄付金 20 円)
 【熱 量】 595kcal
 【アレルギー】 小麦、鯖、大豆、ごま
出食数 626 食、寄付額 12,520 円

○ 旨辛！ばくばく食べれる 豚キムチ丼

【販売期間】 7月1日(月)～7月5日(金)
 【価 格】 370 円 (350 円 + 寄付金 20 円)
 【熱 量】 648kcal
 【アレルギー】 小麦、えび、豚肉、大豆、りんご、ごま、魚介類
出食数 962 食、寄付額 19,240 円



18. キニョン東経大店との連携活動「芝生 de!パン de! おしやピク!」

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・パンプロチーム（経済学部）

【販売期間】6月26日(水)～6月27日(木)

【販売場所】葵陵会館横 芝生エリア



国分寺キャンパス第2期整備事業に伴い今年度で葵陵会館横の芝生エリアがなくなることもあり、前期の外販は「ゼミ生推しの人気パンを芝生で食べよう」と呼びかけピクニック気分を味わうものとなりました。当日は昨年のパン総選挙でランクインしたメロンパン・紅茶スコーン・塩パンと、新作のほうじ茶スコーンの4種類を販売しました。



19. 子ども農業体験講座 ボランティア

【活動団体】Clover(ボランティアサークル)

【活動日程】6月29日(土)

【活動場所】実習農場、並木図書館

地域の畑で種まきや苗植え、収穫などにチャレンジし、農業を通じて地域の人や友だちと一緒に野菜について学ぶ、国分寺市並木図書館主催事業にボランティアとして参加しました。講座は6月1日(土)から10月12日(土)まで約半年にわたる全9回からなり、作物の成長と収穫が見られるボランティアです。今回はジャガイモ掘りをおこない、たくさん収穫できて参加者も大変喜んでいました。



20. スイーツ等の協働販売活動 ⑤

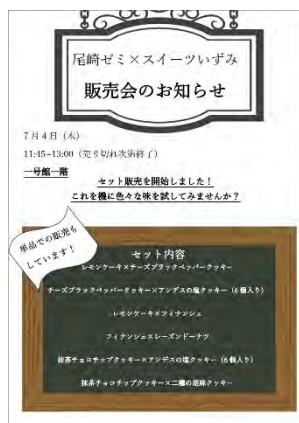
【活動団体】尾崎寛直ゼミ どーむ班（経済学部）

【販売日程】7月4日(木)

【販売場所】1号館1階

尾崎ゼミどーむ班は、社会福祉法人万葉の里の関連施設、就労継続支援事業B型どーむの菓子製造部門「スイーツいずみ」と活動しています。

どーむ班の第2回目の協働販売活動として、「スイーツいずみ」のメンバーが製造したフィナンシェや季節限定のレモンケーキなどの焼き菓子の販売を行いました。



21. 多喜eスポーツ大会 ボランティア

【活動団体】Clover（ボランティアサークル）

【活動日程】7月7日（日）、9月1日（日）

【活動場所】多喜窪公会堂

小学生をメインとしたeスポーツ大会を企画・運営しました。多くの小中学生が参加し、優勝目指して奮闘していました。多くの方のサポートで運営を成功させることができました。尚、参加者には毎月第1日曜日に実施している多喜窪公園の清掃活動の周知・紹介もあわせておこないました。



22. スイーツ等の協働販売活動 ⑥

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】7月12日（金）

【販売場所】1号館エントランスホール

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミのともしび班が、社会福祉法人ななえの里の関連施設「就労継続支援B型ともしび工房」の方々が製造した多種多様なクッキーなどの第3回販売会をおこないました。



2 3. 東経の森の管理作業

【活動団体】SDGs 学生委員会
【活動日程】7月13日（土）
【活動場所】東経の森

東光園緑化(株)の指導のもと、東経の森新次郎池周辺の下草刈りと間伐作業をおこないました。約2時間の作業後、一帯は林床に明るい陽ざしが届くようになりました。
東経の森の景観を維持するために、2012年から教職員有志と学生、地域住民が協働して管理作業（「森と水プロジェクト」）を行ってきましたが、コロナ禍で中断していました。SDGs 学生委員会の学生が第1弾の活動を実施し、再開に向けて動き出しました。



2 4. こくベジ収穫体験

【活動団体】SDGs 学生委員会
【活動日程】7月13日（土）
【活動場所】国分寺 中村農園

こくベジ生産農家の国分寺中村農園にて、農地全体の視察ならびに収穫体験をおこないました。7月19日（金）から国分寺駅コンコースなどで開催される「こくベジまつり」につながる活動です。



2 5. ぶんじ子どもフェスタ ボランティア

【活動団体】Clover（ボランティアサークル）
【販売日程】7月14日（日）
【販売場所】武蔵国分寺公園

子どもへ”ものづくり体験を提供する”ワークショップ『風車のアトリエ』を企画、工作のサポートをしました。また他団体がおこなうバルーンアート、ヨーヨー釣り、シャボン玉のブースもサポートしました。あいにくの天気でしたが、多くの子ども達が来場し、楽しそうに過ごしていました。



26. スイーツ等の協働販売活動 ⑦

【活動団体】尾崎寛直ゼミ・泰山木班（経済学部）
 【販売日程】7月19日（金）
 【販売場所】1号館エントランスホール

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの泰山木班が、NPO 法人泰山木の方々が製造した手作りパンやパウンドケーキなどの第3回販売会をおこないました。



27. 第1回こくベジまつり

【活動団体】SDGs 学生委員会
 【活動日程】7月19日（金）～7月21日（日）
 【活動場所】国分寺駅ビル

国分寺駅ビル 35 周年記念×国分寺市制施行 60 周年記念イベントとして開催されました。学生達は、企画段階から関わり、店舗を農園風景にするといった装飾や展示方法などを提案しました。イベント当日には来場者への呼びかけや、各売り場のレジなどを担当しました。豊かな農地で丁寧に育てられた「こくベジ」やその加工品は大変好評でした。



28. 国分寺市制施行 60 周年記念 60 祭

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）
 【活動日時】7月20日（土）
 【活動場所】cocobunji プラザ

国分寺市制施行 60 周年記念イベント『60 祭』（ろくじゅっさい）において、60 周年記念ロゴや「ぶんじ ぼたる ホッチ」がデザインされた缶バッジのワークショップを開催しました。8 種類ものデザインがあり、終日子ども達に大人気でした。



29. LOCAL TABLE「フードドライブ～食からみえるまちのつながり～」

【活動団体】TKU Unlimited 食品ロスプロジェクト班

【活動日時】7月26日（土）

【活動場所】カフェローカル（cocobunji WEST 5階）

TKU Unlimitedは「自分に限界をつくらない」「学生ができること、やりたいことを主体的に行動する」という2つの目標を掲げ、学生目線で等身大のメッセージを学生や社会に伝える取り組みをしている本学キャリアデザインプログラム（CDP）に所属する学生で構成される団体です。

食品ロスプロジェクトのメンバーが、国分寺市社会福祉協議会の方とともに参加型イベントの講師として登壇し、プロジェクトの取り組みを紹介しました。



30. 夏休みゲームスペース ボランティア

【活動団体】Clover（ボランティアサークル）

【活動日程】7月30日（火）、8月8日（木）、8月21日（水）、8月30日（金）

【活動場所】もとまち公民館

小中学生の夏休み期間に4回開催の「なつやすみゲームスペース」のボランティアをしました。各回とも多くの子ども達が参加、遊びの中から自由研究のきっかけになるような体験も提供しました。大きなスクリーンでのゲームの他、ボードゲームやカードゲーム、おやつ作りなどを共に楽しみました。



31. TKU子ども交流会

【活動団体】常森裕介ゼミ有志

【活動日程】8月23日（金）

【活動場所】もとまち児童館

交流会開催にあたり、5月21日（火）から7月23日（火）まで、月2回ずつ合計6回児童館を訪問し、事前に子ども達と交流を持つことから始めました。

交流会当日は、ドッジボールやしっぽとり等のスポーツやちぎり絵工作、スタンプラリーをおこないました。

子ども達だけでなく、保護者・児童館職員などとも関わることができました。



3 2. 中庭夏まつり

【活動団体】Clover（ボランティアサークル）

【販売日程】8月25日（日）

【販売場所】本多公民館

本多公民館で開催された「中庭夏まつり」へボランティアとして参加し、夏まつりの前日準備ならびに当日の人手が足りない出店のお手伝いを行いました。



3 3. 第10回こくまるパンフェスティバル

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ パンプロチーム

【開催日程】9月11日（水）～9月17日（火）

【開催場所】国分寺マルイ1階カレンダーリウム



ゼミ生が、国分寺マルイ地下1階のボンパドウル国分寺マルイ店と国分寺マルイとともに新しいパンの開発をおこない、コラボパン3種類を開発・販売しました。

イベント期間中にはゼミ生が店頭にて販売活動もおこない、3種類合計で1684個を販売しました。



3 4. 立川南フェスタ 2024「立川南ロワンダーランド」

【活動団体】鈴木恒雄ゼミ・立川班（経済学部）

【開催日程】9月23日（月祝）〈立川南フェスタ開催期間：9月1日（日）～9月23日（月・祝）〉

【開催場所】立川南フェスタ・メイン会場

【主 催】立川南フェスタ実行委員会

立川南フェスタ 2024の一環として開催される立川南ロワンダーランド。今年で3回目となる「たちモンクエストⅢ」は商店街やお店をモンスターとしてデザインしたトレーディングカードで、カードゲームとして遊ぶことのできるものです。

ゼミ生は、立川南フェスタ 2024の企画段階から会議に参加し、公式 SNS の運営もおこないました。

イベント当日は、イベント設営や運営を担当し、たちモンクエストの受付やたちモンカード対戦コーナーや謎解きチェックポイントなどで活動しました。



35. スイーツ等の協働販売活動 ⑧

【活動団体】尾崎寛直ゼミ どーむ班・太陽班（経済学部）

【販売日程】9月26日（木）

【販売場所】1号館1階

尾崎ゼミどーむ班が協働する就労継続支援事業B型どーむの菓子製造部門「スイーツいずみ」と、太陽班が協働する介護事業所「太陽」は共に社会福祉法人万葉の里の関連施設です。

どーむ班の第3回目、太陽班の第2回目の協働販売活動として、「スイーツいずみ」のメンバーが製造したスイーツや「太陽」の利用者が製作した革製品などを販売しました。



36. 国分寺市立第四中学校 探求授業「国分寺×SDG s」

【活動団体】Clover（ボランティアサークル）

【活動日程】9月27日（金）ほか7月12日(金)、8月8日(木)、10月8日(火)

【活動場所】国分寺市立第四中学校、中学校周辺、もとまち公民館

毎月第1日曜日に実施している「多喜窪公園清掃ボランティア」活動を通じて知り合った近隣の中학생との縁から、中学校の探求授業「国分寺学×SDGs」へ協力しました。国分寺のヒーローになりたいという生徒達と共に、四中周辺のゴミ拾いを行ったり、もとまち児童館で夏休みに行われた「もとまちゲームスペース」に協力してもらったりしました。



37. 東経大名物パン開発プロジェクト「パン総選挙」

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・パンプロチーム

【アンケート実施期間】10月9日(水)～10月23日(水)

鈴木特別ゼミでは『実社会における問題解決力を鍛える』をテーマに掲げ、活動を行っています。パンプロチームは、葵陵会館2階のキニョン東経本店にご協力いただき活動を行っています。

「パン総選挙」として本校の学生や教職員向けにキニョン東経本店の人気パンを決めるアンケートを実施しました。結果は、今後おこなわれる鈴木特別ゼミのイベントでのパン販売に活かされます。



38. 国分寺お店大賞表彰式

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ（経済学部）お店大賞班、(表彰式司会：放送研究会)

【開催日程】表彰式日程：10月14日(月・祝)

(投票受付期間：8月1日(木)～8月31日(土))

【開催場所】表彰式：cocobunji プラザ5階 リオンホール (Instagramにてライブ配信)

国分寺お店大賞は、国分寺市内の個性的で魅力あるお店を発掘し、さらなる魅力向上や地域の活性化を図る目的で2018年度から国分寺市商工会主催で開催されています。今年は第7回となり、一般からの投票により「飲食部門」「小売・サービス部門」の2部門からグランプリ1店、準グランプリ2店を選出し、表彰式にて受賞店を発表します。

お店大賞班のゼミ生は、広報活動、投票や表彰式の企画・運営、受賞店プロモーションビデオの制作等、運営の協力をおこないました。



39. スイーツ等の協働販売活動 ⑨

【活動団体】尾崎寛直ゼミ 泰山木班（経済学部）

【販売日程】10月18日(金)

【販売場所】葵陵会館前（雨天時1号館エントランスホール）

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの泰山木班が、NPO法人泰山木の方々が製造した手作りパンやパウンドケーキなどの第4回販売会をおこないました。



40. 秋を味わうライトアップ企画 第1弾 ～煌めく森と池～

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ、こくスマ！（まちづくり学生団体）
【開催日程】10月23日（水）～11月12日（火）
【開催場所】新次郎池、東経の森

春の「Welcome light up!!」に続く秋のライトアップ企画第1弾として、新次郎池と周辺の東経の森を幻想的にライトアップしました。



41. ぶんじハロウィン

【活動団体】学生の地域貢献（正課授業）、Clover（ボランティアサークル）
【開催日程】10月27日（日）
【開催場所】国分寺駅周辺

「学生の地域貢献」の履修学生は「みんなで作ろう！ジャック・オー・ランタン」のワークショップを開催、子ども達の工作のサポート等を行いました。
Cloverのメンバーは、主催の「ぶんじハロウィン実行委員会」の一員として事前の実行委員会から参加、当日はスタンプラリーブースや他の参加団体のサポートを行いました。



42. 葵祭

【開催日程】11月1日（金）～11月3日（日・祝）

葵祭（大学祭）期間中、葵陵会館の1階・2階を地域枠として、地域連携センターが関わるゼミや団体が多数出店しました。

①ゼミナール連合会

【出店場所】葵陵会館1階食堂スペース（ラウンジ）

ゼミの魅力や活動内容をパネル等による展示形式で学生や来場者に向けて説明しました。



②こくスマ！（まちづくり学生団体）

【出店場所】 葵陵会館 1 階食堂スペース（厨房横）

教職員などに呼びかけ、集まった品物をフリーマーケットで販売しました。またゲーム（2 回 100 円）で射的とこくスマ！パニックをおこないました。売上金は国分寺市社会福祉協議会に寄付しました。また、こくスマ！、鈴木ゼミ、鈴木特別ゼミの特別合同企画「謎解きラリー」もおこないました。



③鈴木恒雄ゼミ（経済学部）

【出店場所】 葵陵会館 1 階食堂スペース

国分寺に関するクイズに答えてストラックアウトに挑戦！「国分寺ストラックアウトチャレンジ」（参加費無料）を実施しました。



④鈴木恒雄特別ゼミ

【出店場所】 葵陵会館 2 階

○「ダーツの旅に出よう in 国分寺」（1 回 100 円）

ダーツを国分寺地図に向かって投げ、当たった場所にちなんだクイズに答える企画をおこないました。

○キニョン新作コラボパン先行販売

「東経大名物パン開発プロジェクト」から生まれた、東経大生のニーズをもとにゼミ生が考案した完全オリジナルパン「明太チーズもち」を販売しました。コラボパンは期間限定販売商品として、葵祭後にもキニョン東経大店で販売しました。



⑤小木紀親ゼミ（経営学部）

【出店場所】模擬店スペース（葵陵会館前）

国分寺産の野菜「こくベジ」を使用した豚汁・じゃがバター・冷凍ブルーベリーを各 400 円にて模擬店で販売しました。



⑥SDGs 学生委員会

【出店場所】模擬店スペース（葵陵会館前）

国分寺産の野菜「こくベジ」を使用した大学イモを販売しました。売上金は国分寺市社会福祉協議会へ寄付しました。



⑦ボランティアサークル Clover

【出店場所】模擬店スペース（葵陵会館前）

牛串・豚串を販売しました。

4 3. 国分寺まつり

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日程】11月3日（日・祝）～11月4日（月・休）

【開催場所】都立武蔵国分寺公園

今年は国分寺市制施行 60 周年を記念し 2 日間の開催となりました。こくスマ！は国分寺に関するクイズに答えてビンゴになると、60 周年記念ロゴやぶんじほたるホッチがデザインされたオリジナル缶バッジがもらえる「国分寺ビンゴクイズ」をこくぶんじ観光まちづくり協会のブースにておこないました。



4 4. 東経大名物パン開発プロジェクト 新作パン「明太チーズもち」

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・パンプロチーム

【販売期間】11月5日(火)～11月29日(金)

【販売価格】200 円（数量限定販売）

5 月下旬から 2 週間にわたって行った本学学生と教職員へのアンケート結果をもとに、キイニョン東経大店と協働で新作パン「明太チーズもち」を開発しました。キイニョン東経大店にて期間・数量限定で販売しました。



4 5. グリーンプライド

- 【活動団体】 Clover（ボランティアサークル）
【活動日程】 11月8日（金）
【活動場所】 国分寺駅北口周辺

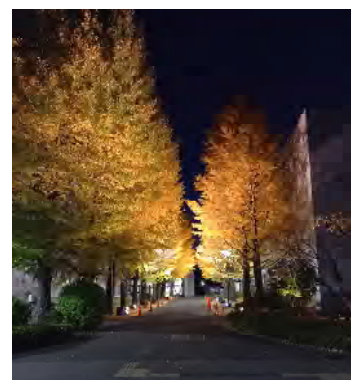
国分寺北口連合商店会や多摩信用金庫と共同で行う清掃活動『グリーンプライド』。コロナ禍のためしばらく中断していましたが、今後は定期的な活動再開を目指しています。



4 6. 秋を味わうライトアップ企画 第2弾 ～誰かと見たい秋がココにある～

- 【活動団体】 鈴木恒雄特別ゼミ、こくスマ！（まちづくり学生団体）
【開催日程】 11月13日（水）～11月26日（火）
【開催場所】 1号館と2号館の間の銀杏並木

秋のライトアップ企画第2弾として、1号館と2号館の間のイチョウ並木をライトアップしました。



4 7. スイーツ等の協働販売活動 ⑩

- 【活動団体】 尾崎寛直ゼミ 泰山木班（経済学部）
【販売日程】 11月15日（金）
【販売場所】 葵陵会館前

障がい者の就労支援を研究課題とする尾崎ゼミの泰山木班が、NPO 法人泰山木の方々が製造した手作りパンやパウンドケーキなどの第5回販売会をおこないました。



48. こくめしプロジェクト

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・こくめしプロジェクトチーム

【開催日程】11月18日(月)～12月8日(日)

【開催場所】国分寺市内の協力飲食店



国分寺駅周辺の飲食店活性化を目指す活動として、国分寺市商工会と地域イベント「こくめし」を共催しています。国分寺市内の個人経営飲食店にご協力いただき、ゼミ生は共通商材を商工会の会議で提案し各年度の共通商材を決定、各飲食店に共通商材を使ったメニューの提案をおこない「こくめし」メニューの開発、またSNSを用いての広報活動もおこないました。

7回目の開催となる今年度の共通商材は『おにぎり』、市内17店舗にご協力いただきました。



49. 東経大名物パン開発プロジェクト 【ぐるぐるーレット ～パンのお悩みぐるっと解決～】

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・パンプロチーム

【販売期間】11月20日(水)～11月21日(木)

【販売場所】葵陵会館前



10月9日から2週間余りにわたって行われたパン総選挙(アンケート)で上位となったキニョン東経大店のパン3種と今年度コラボして開発した新作パン「明太チーズもち」の計4種類を販売しました。購入するパンを迷う方に向けたルーレットが用意され、パン購入後に挑戦できるスペシャルルーレットに当たるとキニョン東経大店で使える割引券がプレゼントされました。



50. 国分寺のOI(おい)しいをお届け！

【活動団体】鈴木恒雄特別ゼミ・こくめしプロジェクトチーム

【開催日程】11月23日(土・祝)～11月24日(日)

【開催場所】国分寺マルイ 1階催事場



国分寺マルイと鈴木特別ゼミが手を組み、国分寺が誇る美味しいものをお届けする企画として「こくめし」ポップアップ・イベントを開催しました。こくめし協力店舗のうち23日は6店舗、24日は4店舗の本イベント限定オリジナル弁当をゼミ生が店頭にて販売しました。



5 1. サステなぶんじ 2024

【活動団体】東京経済大学 SDGs 学生委員会

【開催日程】11月23日（土・祝）～11月24日（日）

【開催場所】セレオ国分寺9階 インドアガーデン

セレオ国分寺と SDGs 学生委員会が協働して「サステなぶんじ 2024」を開催しました。
ペットボトルキャップを使ったオリジナルマグネット作りのワークショップ「キャップ to the future」と、スポットラリー「自分ごと化 × SDGs」をおこないました。
また、フードドライブも同時におこないました。



5 2. ぶんぶんウォーク

【活動団体】こくスマ！（まちづくり学生団体）

【開催日程】11月24日（日）

【開催場所】cocobunji プラザ セミナールーム

ぶんぶんウォークは11月22日（金）～12月1日（日）、国分寺市内100か所、約200の大小様々な企画で開催された、まちをぶらぶら歩きながら国分寺の魅力を再発見するイベントです。こくスマ！はオリジナル缶バッジとしおり作りのワークショップをおこないました。



59. Table For Two

【活動団体】 小木紀親ゼミ（経営学部）

Table For Two (TFT) とは、発展途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病を同時に解決する運動です。東京経済大学生協同組合とコラボして「Table For Two」に取り組んでいます。生協での TFT ランチ一食購入につき 20 円が寄付され、発展途上国の子供たちの給食一食分となります。

後期の TFT メニュー

○ シャキトロ！SKT 丼

【販売期間】 11 月 25 日(月)～11 月 29 日(金)
 【価 格】 450 円 (430 円 + 寄付金 20 円)
 【熱 量】 570kcal
 【アレルギー】 小麦、鮭、鯖、大豆、ごま

○ 真っ赤なトマトのキーマカレー

【販売期間】 12 月 2 日(月)～12 月 6 日(金)
 【価 格】 450 円 (430 円 + 寄付金 20 円)
 【熱 量】 734kcal
 【アレルギー】 小麦、乳成分、豚肉、鶏肉、大豆

後期合計出食数 1,249 食、寄付額 24,980 円



60. LOCAL TABLE「こくめし 食×国分寺」

【活動団体】 鈴木恒雄特別ゼミ・こくめしプロジェクトチーム

【活動日時】 11 月 29 日 (金)

【活動場所】 カフェローカル (cocobunji WEST 5 階)

まちのイベントやプロジェクトを紹介し新しい企画を考え、繋がりをつくる参加型のイベント「Local Table」にゼミ生代表が講師として登壇しました。第 1 部では、こくめしプロジェクトの概要を質問を受けながら説明、第 2 部では参加者とともに「こくめしの認知度を上げるのはどうしたらよいか」をグループに分かれて話し合いました。



61. 東経大名物パン開発プロジェクト アンケート

【活動団体】 鈴木恒雄特別ゼミ キニヨンチーム

【実施期間】 12 月 4 日 (水)～12 月 18 日 (水)

【結果報告】 1 月 28 日 (火)

鈴木特別ゼミ・パンプロチームでは、2024 年度の活動を振り返り、ニーズを把握して次年度の活動に活かすことを目的に、本学学生と教職員を対象とした後期アンケートを実施しました。



6 2. スイーツ等の協働販売活動 ⑪

【活動団体】尾崎寛直ゼミ ともしび班（経済学部）

【販売日程】12月11日（水）

【販売場所】葵陵会館前

ともしび班の2024年度最後の協働販売活動として、社会福祉法人ななえの里「就労継続支援B型ともしび工房」のクッキー販売を行いました。ともしび班は今年度4回の販売会を実施しました。



6 3. 英語で遊ぼう

【活動団体】カレイラ松崎順子先生（全学共通教育センター）他教員と本学学生14名

【活動日程】12月16日（月）

【活動場所】cocobunji WEST 5 階

「国分寺周辺地域活動費」の助成を受け、「英語で日本文化を体験すること」を目的に開催しました。地域の子供達18名が参加し、テーブルに分かれて茶道、折り紙、ボードゲーム、カードゲームをおこないました。皆、英語で会話をしながら楽しんだ様子で、学生達にとっても貴重な実践の場となりました。



6 4. スイーツ等の協働販売活動 ⑫

【活動団体】尾崎寛直ゼミ 泰山木班（経済学部）

【販売日程】12月20日（金）

【販売場所】葵陵会館前



泰山木班の2024年度最後の協働販売会として、NP0法人泰山木の方々が製造した手作りパンや焼き菓子などの販売会を行いました。今回はクリスマス用シュトーレンの予約販売もおこない、大変好評でした。泰山木班は今年度6回の販売会を実施しました。



6 5. 葵名人会

【活動団体】落語研究会

【活動日程】12 月 21 日(土)

【活動場所】cocobunji WEST 5 階 リオンホール

落語研究会 OB である八代目春風亭柳橋師匠をお迎えする落語研究会伝統の年末発表会「葵名人会」がコロナ禍を経て 5 年ぶりに復活しました。地域の方々に気軽にいらしていただくために予約不要・入場無料とし、多くの方に楽しんでいただきました。



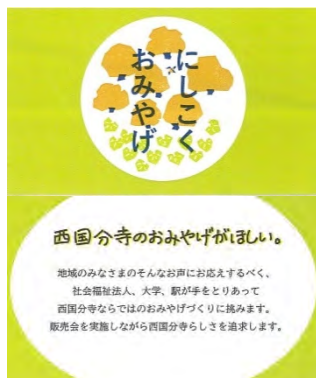
6 6. にしこくおみやげプロジェクト

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

【販売日程】12 月 27 日（金）～12 月 28 日（土）

【販売場所】西国分寺駅 改札内催事スペース

「西国分寺ならではのおみやげが欲しい」という地域の声から 2023 年度に発足したプロジェクトです。JR 中央線コミュニティデザイン、社会福祉法人 AnnBee とコラボし 2024 年 4 月に続く第 3 回販売会を開催しました。「こくべじ」を使用したガレットは大変好評でした。2025 年 1 月 11 日(土)よりガレットの販売が常設となりました。



6 7. 新春ぶんじ寄席

【活動団体】落語研究会

【活動日程】1 月 12 日（日）

【活動場所】セレオ国分寺 9 階特設ステージ

2016 年よりセレオ国分寺とのコラボ企画として例年 1 月上旬に開催しています。今年は 8 名の部員が落語を披露、たくさんの方が足を止め新春の寄席を楽しんでくださいました。



6 8. GX キッチン（国分寺市×東京ガス×SHIBUYA109lab. 共催）

【活動日程】1月28日（火）

【活動場所】国分寺市 ひかりプラザ

こくベジを使い、省エネやSDGsを食から考えるエコ・クッキング体験イベントに学生10名が参加しました。少しの工夫で省エネ・節水・食品ロス削減になるポイントを学びながら米粉ピザとパワーチキンサラダを楽しく調理・試食しました。

東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会では、国分寺市内の農畜産物こくベジをもとにしたGXの試みを、国分寺市、東京ガス、NTT 東日本、日立製作所研究開発グループ、国分寺中村農園などと協働で取り組んでいます。



6 9. 国分寺市社会福祉法人への寄付

【活動団体】こくスマ！、SDGs 学生委員会

【活動日程】2月4日（火）

まちづくり学生団体こくスマ！が2024年度の地域イベントのワークショップ等で得た収益94,500円を、SDGs 学生委員会が葵祭の模擬店で「こくベジ」を使用した大学芋を販売した収益20,000円を、それぞれ国分寺市社会福祉協議会へ寄付しました。会長と事務局長からは、「毎年の東経大の学生団体からの寄付に本当に感謝します。有効に使わせていただきます」とのお言葉をいただきました。



7 0. 国分寺物語

【活動団体】小木紀親ゼミ（経営学部）

国分寺物語とは、「地域の方々の想い」に焦点を当て、国分寺の魅力を主にSNSで発信・共有することで地域活性化を支援する、学生主体の地域活性化プロジェクトです。LOCAL TABLE、こくベジ御膳など年間を通して活動しました。また、こくぶんじ観光まちづくり協会主催「第46回こくぶんじ写真コンクール」は小木ゼミ「国分寺物語」等が協賛し、ゼミ生は審査員として活動しました。



7 1. にしこくスマイルフェスティバル

【活動団体】こくスマ！

【活動日程】3月16日（日）

【活動場所】西国分寺駅改札外自由通路

西国分寺駅からコラボイベントの依頼を受け、西国分寺にスポットを当てた新たなイベントを創出しました。開催にあたり、西国分寺駅や西武信用金庫とコンセプトワークを重ね、「ほっとスポーツにしこくプロジェクト」を立ち上げました。第1弾イベント「にしこくスマイルフェスティバル」を開催し、にしこく探策クイズとオリジナル缶バッジ作りのワークショップをおこないました。





東京経済大学地域連携センター 2024 年度年次報告書
2025 年 4 月 1 日 発行

東京経済大学 地域連携センター
〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34
Tel : 042-328-7950 Fax : 042-328-7949

Mail: crc@s.tku.ac.jp

URL: <https://www.tku.ac.jp/renkei/area-center/>

X : [@crc_tku](#)